

平成26年度

青森市教育委員会事務の管理及び
執行の状況の点検及び評価報告書

- 平成25年度の実績 -

青森市教育委員会

青市教報告第 1 号

平成 26 年 8 月 4 日

青森市議会議長 丸 野 達 夫 様

青森市教育委員会

平成 26 年度青森市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条第 1 項の規定により、平成 26 年度青森市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書を次のとおり提出します。

- 目 次 -

1	平成 25 年度教育委員会の活動状況	
(1)	教育委員	1
(2)	教育委員会会議審議案件	1
(3)	教育委員会会議以外の主な活動状況	6
2	教育委員会事務の点検・評価方法	9
3	点検・評価結果	
(1)	青森市教育振興基本計画	11
(2)	青森市スポーツ推進計画	42
(3)	青森市子ども読書活動推進計画 第二次計画	51
4	学識経験者の意見	57
5	まとめ	58

1 平成 25 年度教育委員会の活動状況

(1) 教育委員

職 名	氏 名	任 期	就任年月日
委員長	佐 藤 秀 樹	H24.5.20 ~ H28.5.19	H24.5.20
委員長職務代行者	平 出 道 雄	H23.5.20 ~ H27.5.19	H19.5.20
委員長職務代行者	鎌 田 慎 也	H21.5.20 ~ H25.5.19	H17.4.1
委員	西 村 恵美子	H22.5.20 ~ H26.5.19	H18.5.20
委員	石 澤 千鶴子	H24.4.1 ~ H28.3.31	H24.4.1
委員	佐 藤 克 則	H25.5.20 ~ H29.5.19	H25.5.20
教育長	月 永 良 彦	H25.5.20 ~ H29.5.19	H21.6.1

網掛けは、平成 25 年度途中に変更となった教育委員である。

(2) 教育委員会会議審議案件

会 議	議案・報告事項等
平成 25 年第 4 回定例会 日時：平成 25 年 4 月 22 日 場所：教育研修センター 4 階第 2 研修室	【報告】 (1) 事故の報告について
平成 25 年第 5 回定例会 日時：平成 25 年 5 月 20 日 場所：教育研修センター 4 階第 2 研修室	【議案】 議案第 22 号 青森市スポーツ推進審議会委員の任命について 議案第 23 号 青森市就学指導委員会委員の委嘱及び任命について 議案第 24 号 平成 25 年度一般会計補正予算について 議案第 25 号 青森市特別職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について 議案第 26 号 専決処分について（長島小学校における雪害事故） 議案第 27 号 専決処分について（沖館小学校における除雪作業中事故） 【報告】 (1) 青森市指定文化財の指定及び解除について (2) 財産の取得について (3) 浪岡中央公民館整備事業について (4) 青森市立小・中学校における体罰調査の結果について
平成 25 年第 6 回定例会 日時：平成 25 年 6 月 27 日 場所：教育研修センター 4 階第 2 研修室	【報告】 (1) 平成 25 年第 2 回市議会定例会の質問概要について (2) 青森市少年海外生活体験事業について (3) 浜館小学校における給食への異物混入について

<p>平成 25 年第 7 回定例会 日時：平成 25 年 7 月 22 日 場所：教育研修センター 4 階第 2 研修室</p>	<p>【報告】 (1) 指定管理者の募集等について (2) 寄附採納について (3) いじめ防止対策について (4) 一般財団法人青森市文化スポーツ振興公社に係る労働審判の結果について</p>
<p>平成 25 年第 8 回定例会 日時：平成 25 年 8 月 16 日 場所：教育研修センター 4 階第 2 研修室</p>	<p>【議案】 議案第 28 号 青森市教育委員会事務局の組織及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について 議案第 29 号 平成 25 年度一般会計補正予算について</p> <p>【報告】 (1) 平成 25 年度青森市少年海外生活体験事業について (2) 青森市小学校給食センター等整備運営事業 P F I 事業者の融資契約締結と直接協定について (3) 一般財団法人青森市文化スポーツ振興公社の経営状況及び経営改善計画の進捗状況について</p>
<p>平成 25 年第 9 回定例会 日時：平成 25 年 9 月 30 日 場所：教育研修センター 4 階第 2 研修室</p>	<p>【議案】 議案第 30 号 青森市民図書館協議会委員の任命について 議案第 31 号 臨時に代理し処理した事項の承認について（一般会計補正予算） 議案第 32 号 臨時に代理し処理した事項の承認について（県費負担教職員の懲戒処分）</p> <p>【報告】 (1) 青森市小・中学校における体罰調査に係る処分について (2) 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に係る推薦候補の選定結果について (3) 道路の崩落による孫内地区スクールバスの代替運行について (4) (仮称) 青森市教育振興基本計画について (5) いじめ防止対策について (6) 全国学力・学習状況調査について (7) 小学校給食センターにおける食物アレルギー対応食への今後のスケジュールについて (8) 大連市の小・中学校との交流について (9) 青森市学校図書館読書感想文コンクール「学校賞」について (10) 「矢野きよ実講演会」及び「書きましょ IN 青森 Part2」の開催について</p>
<p>平成 25 年第 10 回定例会 日時：平成 25 年 10 月 22 日 場所：柳川庁舎 2 階大会議室</p>	<p>【報告】 (1) 青森市浪岡中央公民館改築工事の変更契約の締結について (2) 寄附採納について（教育用品） (3) ネーミングライツ・スポンサーの募集について</p>
<p>平成 25 年第 2 回臨時会 日時：平成 25 年 10 月 29 日 場所：教育研修センター 4 階第 2 研修室</p>	<p>【議案】 議案第 33 号 青森市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書（案）について 議案第 34 号 青森市文化賞表彰規則の一部を改正する規則の制定について 議案第 35 号 青森市スポーツ賞表彰規則の一部を改正する規則の制定について</p>

<p>平成 25 年第 11 回定例会 日時：平成 25 年 11 月 15 日 場所：教育研修センター5 階 大会議室</p>	<p>【議案】 議案第 36 号 通学区域再編について 議案第 37 号 青森市社会教育委員条例の一部を改正する条例の制定について 議案第 38 号 青森市立中学校条例の一部を改正する条例の制定について 議案第 39 号 青森市立小学校条例の一部を改正する条例の制定について 議案第 40 号 青森市学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例の制定について 議案第 41 号 青森市公民館条例の一部を改正する条例の制定について 議案第 42 号 公の施設の指定管理者の指定について（青森市浪岡細野山の家・青森市浪岡細野溪流魚増殖実習場） 議案第 43 号 公の施設の指定管理者の指定について（青森市西部市民センター） 議案第 44 号 平成 25 年度一般会計補正予算について 議案第 45 号 専決処分の報告について</p> <p>【報告】 （ 1 ）平成 25 年度青森市成人式について （ 2 ）青森市子ども読書活動推進計画第二次計画の進捗状況について （ 3 ）AOMORI PRINT トリエンナーレ 2014 開催事業について （ 4 ）アートでオン！フォーラムの開催について （ 5 ）寄附採納について（学校給食食材） （ 6 ）いじめ防止対策について</p>
<p>平成 25 年第 3 回臨時会 日時：平成 25 年 11 月 21 日 場所：教育研修センター5 階 大会議室</p>	<p>【議案】 議案第 46 号 （仮称）青森市教育振興基本計画の素案（案）について</p> <p>【報告】 （ 1 ）指定管理者の募集について（浪岡中央公民館）</p>
<p>平成 25 年第 12 回定例会 日時：平成 25 年 12 月 26 日 場所：教育研修センター 4 階第 2 研修室</p>	<p>【議案】 議案第 47 号 青森市立小学校及び中学校の就学に関する規則の一部を改正する規則の制定について 議案第 48 号 社会教育委員会議への諮問について</p> <p>【報告】 （ 1 ）平成 25 年第 4 回市議会定例会の質問概要について （ 2 ）青森市立金沢小学校校舎改築工事及び附帯工事の設計変更に伴う変更契約について （ 3 ）寄附採納について（教育用 DVD） （ 4 ）公用車の事故について （ 5 ）浪岡中学校生徒海外派遣・受入事業の実施について</p>

<p>平成 26 年第 1 回定例会 日時：平成 26 年 1 月 22 日 場所：教育研修センター 4 階第 2 研修室</p>	<p>【議案】 議案第 1 号 教育財産の取得申出について 議案第 2 号 臨時に代理し処理した事項の承認について（県費負担教職員の処分）</p> <p>【報告】 （ 1 ）（仮称）青森市教育振興基本計画（素案）に係るわたしの意見提案制度の結果について （ 2 ）平成 25 年度青森市成人式について （ 3 ）三浦雄一郎チャレンジ賞について （ 4 ）横内市民センターの陶芸窯の使用休止について （ 5 ）第 9 回全国高等学校カーリング選手権大会の開催について （ 6 ）一般財団法人青森市文化スポーツ振興公社の経営評価結果について （ 7 ）第 26 回棟方志功賞版画展等の開催について （ 8 ）学校給食費の支払督促の結果について （ 9 ）平成 24 年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果について （ 10 ）平成 25 年度青森県学習状況調査について （ 11 ）平成 25 年度浪岡中学校生徒海外派遣事業について</p>
<p>平成 26 年第 2 回定例会 日時：平成 26 年 2 月 17 日 場所：教育研修センター 4 階第 2 研修室</p>	<p>【議案】 議案第 3 号 青森市奨学金貸与条例の一部を改正する条例の制定について 議案第 4 号 青森市公民館条例の一部を改正する条例の制定について 議案第 5 号 公の施設の指定管理者の指定について 議案第 6 号 平成 25 年度一般会計補正予算について 議案第 7 号 平成 26 年度一般会計当初予算について 議案第 8 号 専決処分の報告について</p> <p>【報告】 （ 1 ）寄附採納について （ 2 ）平成 25 年度青森市文化賞・スポーツ賞受賞者について （ 3 ）「アートでオン！」冬のねぶた音楽祭の開催について （ 4 ）「平和の日」青森の集いの開催について （ 5 ）青森市歴史文化基本構想「まほろば歴史の道」ネットワークについて （ 6 ）沖館中学校における除雪作業中の事故について （ 7 ）青森市小学校給食センター等整備運営事業について （ 8 ）学校給食における食物アレルギー対応について （ 9 ）青森市浪岡中央公民館改築工事の変更契約について</p>
<p>平成 26 年第 1 回臨時会 日時：平成 26 年 2 月 21 日 場所：柳川庁舎 5 階教育長室</p>	<p>【議案】 議案第 9 号 臨時に代理し処理した事項の承認について 議案第 10 号 平成 26 年度教育委員会事務局職員の人事異動について 議案第 11 号 県費負担教職員の任免の内申について</p>

<p>平成 26 年第 3 回定例会</p> <p>日時：平成 26 年 3 月 27 日</p> <p>場所：教育研修センター 4 階第 2 研修室</p>	<p>【議案】</p> <p>議案第 12 号 青森市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について</p> <p>議案第 13 号 青森市教育委員会事務局の組織及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について</p> <p>議案第 14 号 青森市学校給食共同調理場設置条例施行規則及び青森市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について</p> <p>議案第 15 号 青森市公民館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について</p> <p>議案第 16 号 青森市教育委員会エネルギー管理規程の一部を改正する規程の制定について</p> <p>議案第 17 号 青森市教育振興基本計画の策定について</p> <p>議案第 18 号 青森市スポーツ推進審議会委員の任命について</p> <p>議案第 19 号 教育長の一般財団法人棟方志功記念館理事の兼職の承認について</p> <p>議案第 20 号 臨時に代理し処理した事項の承認について</p> <p>【報告】</p> <p>(1) 寄附採納について</p> <p>(2) 平成 26 年第 1 回市議会定例会の質問概要等について</p> <p>(3) 青森市スポーツ会館のネーミングライツについて</p> <p>(4) 平成 25 年度テレビ広報特集番組「フレ！フレ！我らは学校応援団」の放送について</p>
---	--

(3) 教育委員会会議以外の主な活動状況

月	活動内容
平成 25 年 4 月	9 日 青森市小・中学校長会議 10 日 市町村教育長会議 11 日 東青管内小・中学校校長会議 11 日 全国市町村教育委員会連合会常任理事・理事会 12 日 東青管内小・中学校教頭会議 21 日 青森市児童親善野球大会本大会開会式 23 日 中学校教育研究総会 26 日 青森市教育委員会連絡協議会教育長会代表者会議 26 日 // 理事会 27 日 国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン大会開会式
平成 25 年 5 月	9 日 青森県初任者研修実施協議会 10 日 青少年育成市民会議総会 10 日 青森県小学校長会総会・研修会 14 日 青森県市町村教育委員会連絡協議会教育長会定期総会 15 日 青森県教科用図書選定審議会 17 日 青森小・中学校教頭会 21 日 青森市子どもを犯罪から守る学校支援協議会 23 日 青森県市町村教育委員会連絡協議会定時総会 23 日 青森県旧青年の家視察 24 日 青森県租税教育推進協議会第 21 回定期総会 27 日 青森県市編さん委員会 27 日 棟方志功記念館理事会
平成 25 年 6 月	3 日 青森県幼稚園等新規採用教員研修運営協議会 15 日 青森市中学校体育大会夏季大会 27 日 青森地区万引等防止協力会定時総会 28 日 青森市小学校体育デー 28 日 青森県英語教育改善推進協議会 29 日 青森市小中学生音楽活動促進事業キッズコンサート
平成 25 年 7 月	5 日 中核市教育長会 7 日 A O M O R I マラソン大会 7 日 スポーツボクシングクラブを盛り上げる会 9 日 青森県教育委員会への要望書提出（県市町村連絡協議会から） 11 日 東北六県市町村教育委員会連合会総会 12 日 // 研修会 15 日 おでかけクラシック 2013 16 日 学校訪問（横内小学校・横内中学校） 18 日 青森市 P T A 連合会・小・中学校長会・青森市教育委員会事務局との意見交換会 21 日 青森市内学童水泳競技大会開会式 25 日 青森県学校歯科保健大会 27 日 三浦氏エベレスト登頂報告会 29 日 青森市児童親善野球大会本大会開会式
平成 25 年 8 月	7 日 市所蔵作品展 9 日 青森市献血推進協議会総会 24 日 いじめ問題に関する対話集会

平成 25 年 9 月	8 日 第 36 回青森県ろうあ者大会 21 日 子どもの絵画コンクール表彰式 23 日 青森県民文化祭オープニングフェスティバル 27 日 青森県少年の主張大会 28 日 油川市民センター会館 20 周年式典 28 日 青森市小中学生音楽活動促進事業キッズコンサート
平成 25 年 10 月	1 日 小学校給食センター視察 5 日 矢野きよ実講演会 6 日 書きましょ I N 青森 8 日 青森市小学校連合音楽会 9 日 縄文シティサミット 10 日 東北地区退職校長会協議会青森大会 17 日 市町村教育委員会研究協議会（第 1 ブロック） 18 日 // 19 日 東中学校落成記念式典 20 日 あおもりソーデーマーチ出発式 23 日 青森県都市教育長協議会 25 日 青森市中学校文化連盟音楽発表会 27 日 東部市民センター 30 周年記念式典 27 日 青森公立大学開学 20 周年記念式典 30 日 明の星学園 50 周年記念式典 30 日 学校訪問（金沢小学校・甲田中学校） 31 日 青森市文化スポーツ振興公社理事会 31 日 第 29 回青森県私学振興大会
平成 25 年 11 月	2 日 青森市中学校文化連盟演劇発表会 5 日 学校訪問（幸畑小学校・横内中学校） 7 日 筒井南小学校 30 周年記念式典 8 日 学校訪問（新城中央小学校・新城中学校） 9 日 甲田小学校 60 周年記念式典 12 日 青森市社会福祉大会 13 日 青森県学校保健・安全・給食研究大会 13 日 市町村教育委員会委員長・教育長合同会議 14 日 東北算数・数学教育研究青森大会 17 日 青森市 P T A 研究大会 19 日 学校訪問（佃小学校・佃中学校） 23 日 アートで音楽のある青森を夢見てフォーラム 30 日 子どもの権利の日イベント
平成 25 年 12 月	1 日 M O A 美術館児童作品展表彰式 3 日 青森市学校図書館読書感想文コンクール学校賞表彰式 7 日 青森市小学生カーリングチャレンジカップ開会式 8 日 青森市剣道連盟創立 60 周年記念式典 20 日 青森市学校図書館読書感想文コンクール学校賞表彰式 25 日 第 1 回青森県いじめ防止基本方針検討協議会

平成 26 年 1 月	<p>4 日 青森市中学生カーリングチャレンジカップ開会式</p> <p>9 日 弱視教育研究全国大会・日本弱視教育研究会創立 50 周年記念式典</p> <p>15 日 全国高等学校カーリング選手権大会ポスターデザイン・スローガン表彰式</p> <p>16 日 みちのく北方漁船博物館視察</p> <p>16 日 中核市教育長会臨時総会</p> <p>17 日 第 2 回青森県いじめ防止基本方針検討協議会</p> <p>18 日 青森県体育功労者等表彰式</p> <p>20 日 学校課題解決のための小・中連携推進事業研究指定校等連絡会議</p> <p>21 日 第 3 回青森県英語教育改善推進協議会</p> <p>23 日 明日へはばたけあおもりっ子キャリア教育推進事業発表会</p> <p>29 日 「白樺美術館」開館セレモニー</p>
平成 26 年 2 月	<p>16 日 久栗坂小学校閉校記念式典</p> <p>17 日 小学校給食センター視察</p> <p>21 日 文化賞・スポーツ賞表彰式</p> <p>23 日 担ぎねぶた制作記念セレモニー</p> <p>28 日 第 3 回縄文遺跡群世界遺産登録推進本部</p>
平成 26 年 3 月	<p>1 日 「平和の日」青森の集い</p> <p>9 日 アートでオン！冬のねぶた音楽祭</p> <p>17 日 臨時青森市立小・中学校長会議</p> <p>18 日 青森市文化スポーツ振興公社理事会</p> <p>24 日 財団法人棟方志功記念館理事会</p> <p>31 日 小中学生ねぶた下絵コンクール</p>

2 教育委員会の事務の点検及び評価方法

(1) 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされている。

このことから、青森市教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の事務の点検及び評価を実施する。

(2) 点検・評価方法

青森市教育委員会では、青森市新総合計画及びこれに基づく青森市教育施策の方針の各施策を推進するため、「青森市教育振興基本計画」、「青森市スポーツ推進計画」及び「青森市子ども読書活動推進計画第 2 次計画」を策定している。

このことから、今年度からの点検・評価については、これら三つの計画に掲げた各施策ごとに、目標として設定した各指標に対する取組状況について、まずは教育委員会事務局による点検・評価（内部評価）を実施し、その上で、教育委員による評価並びに点検・評価アドバイザーから御意見をいただき、評価、課題及び今後の方向性を検討した。

(3) 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用

青森市教育委員会の事務の点検・評価アドバイザー

内 海 隆 氏（公立大学法人青森公立大学経営経済学部教授）

成 田 幾 末 氏（青森人権擁護委員）

(4) 点検・評価の対象

「青森市教育振興基本計画」、「青森市スポーツ推進計画」及び「青森市子ども読書活動推進計画第 2 次計画」に掲げた、各指標に貢献する事務事業とした。

対象事務事業数：278 事務事業（次表参照）

青森市教育振興基本計画

基本方向1	個を生かし、社会の変化に主体的に対応できる「生きる力」を育む学校教育		
	基本施策1	子どもたちに確かな学力を身に付けさせます。	7事業
	基本施策2	子どもたちの豊かな心を育みます。	11事業
	基本施策3	子どもたちの健やかな体を育みます。	21事業
	基本施策4	特別なニーズのある子どもたちを支えます。	7事業
	基本施策5	子どもが未来へ飛躍できる能力・意欲を育みます。	4事業
	基本施策6	子どもたちの公平な教育機会を確保します。	21事業
	基本施策7	小・中学校において、きめ細やかで質の高い教育を実現する指導体制を整えます。	7事業
	基本施策8	小・中学校において、質の高い学びを実現する環境を整えます。	36事業
	基本施策9	学校・家庭・地域の連携により教育力を高めます。	6事業
基本方向2	一人一人の社会参加と生涯にわたる学習を促進する社会教育・生涯学習		
	基本施策10	市民の暮らしや仕事、現代的・社会的課題の解決に向けた学習を支えます。	11事業
	基本施策11	市民の生涯の各段階を通じた自主的な学習を支えます。	12事業
	基本施策12	青少年の健全な成長を支えます。	9事業
基本方向3	郷土への誇りと愛着を育み、まちの魅力と活力を高める文化・芸術		
	基本施策13	市民の文化・芸術活動を支えます。	16事業
	基本施策14	文化財を守り、伝えます。	20事業

青森市スポーツ推進計画

基本方向1	スポーツ・レクリエーション活動の推進	18事業
基本方向2	学校体育活動の充実	5事業
基本方向3	ウィンタースポーツの推進	4事業
基本方向4	競技水準の向上	11事業

青森市子ども読書活動推進計画 第二次計画

基本方針1	家庭や地域等における子どもの読書活動の推進	18事業
基本方針2	子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備・充実	23事業
基本方針3	子どもの読書活動を推進するための連携・交流と広報活動の促進	11事業

計 278事業

3 点検・評価結果

1 施策名

基本施策1	子どもたちに確かな学力を身に付けさせます。
—	【施策1-1】 学力向上アクションプランに基づく学力の向上
—	【施策1-2】 子どもの思考力・判断力・表現力 の育成

2 現状と課題（計画の抜粋）

全国学力・学習状況調査では、本県の児童生徒の学力は、都道府県別では上位を示しており、本市抽出調査校の結果においても、その傾向が一層強く、おおむね満足のいく結果となっています。しかし、「基礎的・基本的な知識や技能」に比べ、「思考力・判断力・表現力」の正答率が低い傾向にあり、この傾向は、県学習状況調査においても同様に見受けられます。このことから、子どもたちに確かな学力を身に付けさせるため、国及び県の学習状況調査の結果に基づいた各学校単位での学力向上に向けた取組を充実させるとともに、「思考力・判断力・表現力」を育成する必要があります。

3 施策の概要（計画の抜粋）

・子どもたちに確かな学力を身に付けさせるために、全国や県の学習状況調査の分析をし、その成果と課題を踏まえて作成する指導事例集を活用しながら、学校訪問や研修講座において授業づくりのポイントを指導・助言します。また、各学校が学力向上に向けた具体的な目標や内容を示した「学力向上アクションプラン」の作成・検証・改善を支援するとともに、授業はもとより、朝や放課後の時間の活用や家庭学習の習慣化を通して基礎的・基本的な内容の確実な定着、苦手分野の克服が図られるよう、学校全体の組織的・計画的な取組を支援します。

・「思考力・判断力・表現力」を育成するために、各教科の授業において、観察や実験、レポート作成や論述など、獲得した知識や技能を活用する活動や互いの考えを伝え合うなど、言語活動の充実を図った授業づくりを学校訪問や研修講座を通して指導します。また、小・中連携や小学校における教員の専門性や得意分野を生かした一部教科担任制、複数の教師が協力して授業を行うティームティーチング、少人数指導など指導体制を工夫します。

4 基本施策の目標とする指標と取組状況

指標名	基準値 (H24)	目標値 (H27)	実績値			現時点での達成率
			H25	H26	H27	
学習状況調査の県平均正答率との差 (小学5年生)	-1.1 pt	1.1 pt	0.3 pt	*** pt	*** pt	27.3 %
	【指標の説明】県学習状況調査における4教科総合の平均正答率の本市と県の差					
学習状況調査の県平均正答率との差 (中学2年生)	3.5 pt	4.3 pt	3.2 pt	*** pt	*** pt	74.4 %
	【指標の説明】県学習状況調査における5教科総合の平均正答率の本市と県の差					
教育活動に対する満足度	6.7 pt	13.9 pt	7.4 pt	*** pt	*** pt	53.2 %
	【指標の説明】児童生徒に基本的・基礎的な知識・技能が定着していると思う市民の割合					

5 平成25年度の取組状況

【学力向上アクションプランに基づく学力の向上】
 全国学力・学習状況調査の結果を分析し、課題への対応をパンフレット型の報告書にまとめ、各校に配付し、指導の充実を図ることができるよう支援しました。
 県学習状況調査の結果の分析、課題への対応を行うために、学力向上推進会議を開催し、授業研修・確かな学力対策講座・指導事例集とを関連付け、各校の学力向上の取組を支援しました。
 指導課長等が、全ての小・中学校長と面談を行い、学力向上のための具体的な目標、その達成に向けた行動計画（学力向上アクションプラン）への指導・助言を行いました。
 全ての小・中学校を訪問し、学校教育指導の方針と重点の周知を図るとともに、学習指導要領の趣旨を伝達したり、指導事例集を参考に「確かな学力」の向上を図るための指導の在り方について助言しました。
 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着のために、家庭と学校が連携した取組により、児童生徒の家庭学習の習慣化を図るよう、学校訪問で働きかけました。

【子どもの思考力・判断力・表現力 の育成】
 これまで小・中学校で別々に開催していた「確かな学力対策講座」を小・中学校合同で開催し、小・中学校それぞれの現状と課題を互いに認識した上で、系統的・発展的な指導によって確かな学力の育成を図る指導方法や、言語活動を通して思考力・判断力・表現力を高める指導の在り方について指導しました。
 「学校課題解決のための小・中連携推進事業」によって、学力向上等の学校課題解決のために、9年間を見通した教育課程を編成するとともに、特色ある教育活動が展開できるよう支援しました。
 個に応じた実践的指導力の向上を目指した「小学校少人数・TT等指導法研修講座」を新設しました。
 確かな学力を育成するため、小学校における教員の専門性や得意分野を生かした一部教科担任制の導入について情報提供しました。

6 教育委員会の点検及び評価の結果

成果
<p>【学力向上アクションプランに基づく学力の向上】 各小・中学校において、学校課題の最重要課題に「学力向上」を掲げ、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着や思考力・判断力・表現力の育成のために、学習指導要領の趣旨を踏まえた指導に、工夫を凝らしています。 その結果、県学習状況調査の結果について、小学校においては平均正答率の県平均との差がマイナスからプラスに転じました。 また、中学校においては、平均正答率に大きな変化はないものの、都市別の順位で上位を維持しています。</p>
課題
<p>【学力向上アクションプランに基づく学力の向上】 小・中学校ともに基礎的・基本的な知識・技能に比べ、それらを活用した思考力・判断力・表現力に課題があります。 学校と家庭が連携して、家庭学習の習慣化、より効果的な家庭学習の実践に取り組む必要があります。</p>
今後の方向性
<p>【学力向上アクションプランに基づく学力の向上】 研修講座（確かな学力対策講座、各教科の研修講座等）の一層の充実を図り、教員の指導力の向上に努めます。 学校訪問における授業参観を基にした指導・助言の一層の充実に努めます。 全国や県の学習状況調査の結果分析を踏まえ、弱点を克服するための授業改善を目指した指導事例集を活用し、指導の充実を図ります。 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着のために、引き続き家庭と学校が連携し、児童生徒の家庭学習の習慣化を図るよう、学校訪問で働きかけます。 家庭学習と授業との関わりや家庭学習の効果、「家庭学習の手引き」の活用などを保護者に周知するとともに、教職員に対しては、学力向上のための研修講座に取り入れたり、学校訪問で紹介していきます。 【子どもの思考力・判断力・表現力の育成】 個に応じた実践的指導力の向上を目指した「小学校少人数・ＴＴ等指導法研修講座」を継続して実施します。 確かな学力を育成するため、小学校における教員の専門性や得意分野を生かした一部教科担任制を取り入れた取組の事例について引き続き情報提供します。 子どもの思考力・判断力・表現力の育成を図るため、授業の中で子どもに考えさせる行為や判断する行為、表現する行為を意図的に経験させるよう、言語活動の工夫について指導助言していきます。 子どもたちが未来への希望を抱き、自己肯定感を高められるよう、引き続き小・中連携の発展・充実に努め、その成果や実践事例について周知・徹底を図ります。</p>

(参考) 施策を構成する事務事業

(単位：千円)

事業番号	事務事業名	事業区分	担当課	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
				決算額	決算額	決算額	予算額
5080007	実践指導事例集作成事業	継続	指導課	-	-	-	-
5080008	学校教育指導方針推進事業	継続	指導課	-	-	-	-
5080009	学校訪問教育指導事業	継続	指導課	197	196	194	238
5080011	国際交流員設置事業	継続	指導課	5,227	5,105	5,111	5,810
5080029	小・中連携教育課程研究開発事業	継続	指導課	450	576	576	576
5080047	教職員研修事業	継続	指導課	3,804	3,644	3,357	4,048
5080049	外国青年（語学指導員）招致事業	継続	指導課	45,337	63,000	66,852	74,043

1 施策名

基本施策2	子どもたちの豊かな心を育みます。
—	【施策2-1】 いじめ、不登校、暴力行為等の予防・解消
—	【施策2-2】 子どもを有害情報や非行から守る取組の充実
—	【施策2-3】 子どもの道徳的な心情・判断力・実践意欲・態度の育成と人権に関する意識の醸成
—	【施策2-4】 学校における体験活動の充実
—	【施策2-5】 学校における伝統・文化に触れる機会の充実

2 現状と課題（計画の抜粋）

核家族化や少子化が進行する中で、子どもの生活体験や体験活動が不足し、規範意識の低下やマナーの欠如が指摘されています。また、学校においては、いじめ、暴力行為、不登校などの様々な課題があります。さらには、インターネット上の有害情報の氾濫など、子どもだけでは、防ぐことが難しい問題もあります。

一方、近年、全国的に学校における体罰の発生が大きな問題となっており、体罰を受けた児童生徒への心の傷への的確な対応が求められています。

このような環境において、子どもたちの豊かな心を育むため、児童生徒の心を育む指導や、体験活動の充実、有害情報から身を守る取組が求められています。

3 施策の概要（計画の抜粋）

- ・いじめの実態把握を強化するため、全ての小・中学校において、学期に1回以上の無記名アンケートを実施します。
- ・ネット上の有害情報把握のためのネットパトロールの実施、また、子どもに正しい情報モラルを身に付けさせるため、学校と家庭が連携して指導できるよう、児童生徒、保護者及び教職員を対象に、SNSを含めたインターネット上の誹謗中傷やいじめ、コンピューター犯罪等に関する出前講座を開催します。また、有害図書等から子どもを守るため、青少年育成市民会議との連携による有害図書等の見回り活動を実施します。
- ・規範意識の醸成のため、全ての教育活動において、JUMPチーム¹など、子どもの主体的な活動を支援します。また、子どもの権利について、啓発に努めます。
- ・日々の授業において、自然体験活動や見学・調査などの体験的な学習活動を多く取り入れるよう、各学校に働きかけます。
- ・各教科や、総合的な学習の時間において、伝統・文化に関して取り扱うよう、学校訪問等を通じて各学校に働きかけます。

JUMPチーム
『Juvenile（少年）』『Misconduct（非行）』『Prevention（防止）』の頭文字でからJUMP チームと名付けられ、少年自身の「規範意識の低下」を防ぐために、中学生・高校生ら少年自らが、お互いに非行防止について呼びかけ、その活動を通じて学校の仲間、さらには地域の方々も一緒になって、県内全体に非行防止の輪が広がることを目的に、平成11年から結成。

4 基本施策の目標とする指標と取組状況

指標名	基準値 (H24)	目標値 (H27)	実績値			現時点での達成率
			H25	H26	H27	
教育相談への相談件数	3,503 件	4,620 件	4,125 件	*** 件	*** 件	82.3 %
	【指標の説明】教育相談室の教育相談及びスクールカウンセラーのカウンセリングの相談件数					
JUMPチームに所属する児童生徒数	724 人	598 人	1,283 人	*** 人	*** 人	214.5 %
	【指標の説明】少年非行防止JUMP（ジャンプ）チームに所属する児童生徒数					
いじめ解消率（小学校）	98.9 %	100.0 %	*** %	*** %	*** %	*** %
	【指標の説明】認知したいじめが解消した割合（小学校）					
いじめ解消率（中学校）	98.7 %	100.0 %	*** %	*** %	*** %	*** %
	【指標の説明】認知したいじめが解消した割合（中学校）					
不登校から復帰した児童の割合	33.8 %	34.9 %	*** %	*** %	*** %	*** %
	【指標の説明】小学校の不登校児童のうち、登校できるようになった児童の割合					
不登校から復帰した生徒の割合	34.5 %	33.2 %	*** %	*** %	*** %	*** %
	【指標の説明】中学校の不登校生徒のうち、登校できるようになった生徒の割合					

から までの指標については、平成25年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果（文部科学省）が9月以降に公表される予定であるため、まだ実績が出ていません。

5 平成25年度の取組状況

【いじめ、不登校、暴力行為等の予防・解消】【子どもの道徳的な心情・判断力・実践意欲・態度の育成と人権に関する意識の醸成】

不登校児童生徒の対応については、適応指導教室入級者個々への対応や指導について、指導主事が教育相談室の相談員とともに学校に赴き、協議するとともに、精神科医によるケースカンファレンスに参加し、講座・学校訪問等の指導助言に役立てました。

HP、広報あおもり及びリーフレットにより、教育相談室に関する広報活動を行いました。

児童生徒の健全育成を目指す活動の中に、小・中学校における少年非行防止JUMPチーム等を位置付け、小・中学校の連携の観点から、中学校における活動に小学校の活動を巻き込んで展開していくよう働きかけました。

学校におけるいじめ問題への対応については、生徒指導主任・生徒指導主事研修講座や教育相談研修講座において、些細なことでいじめとなり得るものとして捉え、組織的に対応するよう働きかけました。

全ての小・中学校を対象に生徒指導訪問を実施し、全学級の授業参観を行ったり、いじめ問題に対する取組状況を把握し、助言に努めました。

全ての小・中学校から代表の児童生徒が参加し、いじめの問題に関する対話集会を実施しました。

いじめ相談カードや、リーフレット、ポスター、のぼり旗を作成し配付しました。

各学期1回以上の無記名アンケートを実施し、学校におけるいじめの未然防止・早期発見・早期対応を働きかけました。

国から「いじめや不登校の未然防止のための魅力ある学校づくり調査研究事業」の指定を受け、委託された小・中学校の指導助言に当たりました。

県の事業であるスクールカウンセラーや本市のカウンセリングアドバイザーの配置により、各学校の求めに応じて対応できるよう体制を整えました。

【子どもを有害情報や非行から守る取組の充実】

子どもの健全な成長を支えるため、青少年育成市民会議へ補助金を交付し、書店やコンビニエンスストアなどでの有害図書等販売状況調査や商業施設及び公園などでの巡回指導の活動を支援しました。

【学校における体験活動の充実】

日々の授業において、事前体験活動や見学・調査などの体験的な学習活動を多く取り入れるよう、学校訪問、研修講座、指導事例集等を通じて、各学校に働きかけました。

また、小・中学校の教員で構成する教育研究会などにおいて、観察や実験などの体験的な授業の研究を行い、その成果を授業に反映させました。

【学校における伝統・文化に触れる機会の充実】

地域のねぶたや伝統芸能等への地域行事の参加、遺跡や文化財などの観察等の体験的活動の充実を図るため、学校訪問をはじめとする様々な機会を捉えて、各学校に働きかけました。

6 教育委員会の点検及び評価の結果

成果

【いじめ、不登校、暴力行為等の予防・解消】【子どもの道徳的な心情・判断力・実践意欲・態度の育成と人権に関する意識の醸成】

HP、広報あおもり及びリーフレットにより、教育相談室に関する広報活動を行ったことで、小さなことでも相談するようになり、教育相談への相談件数が増加しました。

また、小・中学校における活動の中に少年非行防止JUMPチーム等を位置付けた結果、全小・中学校がJUMPチームに加入し、登録する児童生徒も685人に増加しました。

このほか、全小・中学校代表による「いじめ対話集会」の実施や、いじめ相談カード、リーフレット、ポスター、のぼり旗を作成し配付したことで、児童生徒の主体的な活動に広がりをもせるとともに、各学期1回以上の無記名アンケートの実施を徹底したことにより、いじめの未然防止、早期発見につながりました。

課題

【いじめ、不登校、暴力行為等の予防・解消】

不登校児童生徒のうち、登校できるようになった児童生徒の割合（解消率）は、年度毎で増減があるものの、登校できなかった児童生徒の人数は減少していません。

【子どもを有害情報や非行から守る取組の充実】

ネット上の有害情報については、ねぶた祭のある8月頃から問題のある書き込みの増加が確認されています。

【子どもの道徳的な心情・判断力・実践意欲・態度の育成と人権に関する意識の醸成】

全国学力学習状況調査において、「きまりを守る」「あいさつをする」という道徳的な行動をとっている児童生徒の割合が全国・県と比べ若干低くなっています。

今後の方向性

【いじめ、不登校、暴力行為等の予防・解消】【子どもの道徳的な心情・判断力・実践意欲・態度の育成と人権に関する意識の醸成】

学校と家庭・関係機関が、より一層連携していくことにより、問題行動等の未然防止・早期発見・早期対応を図ります。

不登校児童生徒の早期復帰を図るとともに、不登校を生み出さないための未然防止や初期対応について、教育相談研修講座や中学校生徒指導研修講座、生徒指導主任・生徒指導主事研修講座などの各種研修講座及び生徒指導訪問を通して、教員の資質の向上を図ります。

不登校児童生徒の対応については、適応指導教室入級者個々への対応や指導について、指導主事が教育相談室の相談員とともに学校に赴き協議するなど、引き続き相談体制の充実に努めます。

ネット上のいじめへの対応については、計画訪問や生徒指導訪問、小・中学校長会において、少年育成チームが行う情報モラルに関する出前講座の周知と、積極的な活用を働きかけていきます。

小学校のリトルJUMPチーム、中学校のJUMPチームの活動を通して、「あいさつ」や「きまりを守る」などの規範意識の高揚を図るための活動を充実させ、意識啓発に努めます。

【子どもを有害情報や非行から守る取組の充実】

ネット上の有害情報については、家庭との連携により長期休業前の指導の充実に努めます。

【学校における体験活動の充実】

学校における体験活動の充実を図るため、引き続き学校訪問、研修講座、指導事例集等を通じて、各学校に働きかけます。

【学校における伝統・文化に触れる機会の充実】

学校における伝統・文化に触れる機会の充実を図るため、引き続き学校訪問や小・中学校長会での周知、小・中学校教育研究会での紹介など、様々な機会を捉えて、各学校に働きかけていきます。

(参考) 施策を構成する事務事業

(単位：千円)

事業番号	事務事業名	事業区分	担当課	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
				決算額	決算額	決算額	予算額
5010083	青森市青少年育成市民会議運営事業(補助金)	継続	社会教育課	189	171	171	171
5080008	学校教育指導方針推進事業	継続	指導課	-	-	-	-
5080009	学校訪問教育指導事業	継続	指導課	197	196	194	238
5080017	心のふれ合い運動推進事業	継続	指導課	-	-	507	310
5080018	学校支援協議会事務	継続	指導課	74	66	66	91
5080022	教育相談適応指導事業	継続	指導課	248	219	207	234
5080023	スクールカウンセラー配置事業	継続	指導課	-	-	-	-
5080026	少年指導・育成事業	継続	指導課	2,226	2,103	1,840	2,010
5080029	小・中連携教育課程研究開発事業	継続	指導課	450	576	576	576
5080047	教職員研修事業	継続	指導課	3,804	3,644	3,357	4,048
5080057	小・中学校安全・安心対策事業	継続	指導課	3,262	3,388	3,425	3,618

1 施策名

基本施策3	子どもたちの健やかな体を育みます。
—	【施策3-1】 子どもの健康の保持増進
—	【施策3-2】 安全・安心で栄養バランスがとれたおいしい学校給食の充実
—	【施策3-3】 子どもの食に対する意識の向上
—	【施策3-4】 学校におけるスポーツ機会の充実
—	【施策3-5】 子どものケガ等に伴う補償制度の充実

2 現状と課題（計画の抜粋）

全国的な児童生徒の体力の状況は、昭和60年頃と比較すると低い状況にあり、全国と同水準である本市も同様の傾向であると推察されます。また、健康面では、本市の児童生徒は、う歯や低視力、肥満傾向、アレルギー疾患、けがなどが、健康課題となっています。

さらに、近年、子どもを取り巻く様々な不安や悩み、ストレス等に対応するため、心と体の健康に関する知識や理解、心の健康を維持していく力を持つことが必要とされています。

このことから、子どもたちの健やかな体を育むため、健康・安全意識、食習慣に関する指導や、スポーツ機会を充実させるとともに、学校給食の充実が求められています。

3 施策の概要（計画の抜粋）

- ・健康に関する意識の向上を図るため、学校（歯科）医による児童生徒への健康に関する指導を実施するとともに、定期健康診断における疾病や異常に係る治療率を向上させるため、学校から児童生徒及び保護者に対して治療勧告を実施します。
- ・学校給食施設における施設・設備の適切な維持管理に努めるとともに、関係職員・調理員等への研修等により、給食施設における衛生管理を徹底します。
- ・食物アレルギーを持つ児童生徒に対し、安全・安心なアレルギー対応食を提供するとともに、食物アレルギーに伴う事故等を防止するため、各学校に対し、「青森市学校給食における食物アレルギー対応管理マニュアル」を周知・徹底します。
- ・給食の食べ残しを減らすため、この取組を行っている他自治体の実践例や適切な栄養の摂取による健康の保持増進についての指導例について、研修講座を通して、各学校に紹介します。
- ・児童生徒に運動やスポーツの楽しさや意義・価値を実感させ、体を動かす習慣を身に付けさせるため、各学校に対しては、体育・保健体育の工夫ある授業づくりなどを、学校訪問や研修講座を通じ指導します。
- ・学校災害による児童生徒がケガをした場合に速やかに治療を受けることができるよう、日本スポーツ振興センター災害共済給付制度の趣旨や内容に関する情報を保護者に提供するなどにより、児童生徒の全員加入を目指し勧奨します。

4 基本施策の目標とする指標と取組状況

指標名	基準値 (H24)	目標値 (H27)	実績値			現時点での達成率
			H25	H26	H27	
全国体力・運動習慣等調査における体格と肥満度について、肥満傾向にある児童生徒の割合（小学5年生男子）	15.4 %	15.1 %	14.3 %	*** %	*** %	105.3 %
【指標の説明】平成24年度まで抽出校で実施、平成25年度から全校実施。肥満傾向とは、高度肥満、中等度肥満、軽度肥満に該当する児童生徒（その他の区分は、正常、やせ、高度やせ）						
全国体力・運動習慣等調査における体格と肥満度について、肥満傾向にある児童生徒の割合（小学5年生女子）	9.3 %	9.0 %	11.3 %	*** %	*** %	74.4 %
【指標の説明】平成24年度まで抽出校で実施、平成25年度から全校実施。肥満傾向とは、高度肥満、中等度肥満、軽度肥満に該当する児童生徒（その他の区分は、正常、やせ、高度やせ）						
全国体力・運動習慣等調査における体格と肥満度について、肥満傾向にある児童生徒の割合（中学2年生男子）	9.3 %	9.0 %	9.8 %	*** %	*** %	91.1 %
【指標の説明】平成24年度まで抽出校で実施、平成25年度から全校実施。肥満傾向とは、高度肥満、中等度肥満、軽度肥満に該当する児童生徒（その他の区分は、正常、やせ、高度やせ）						
全国体力・運動習慣等調査における体格と肥満度について、肥満傾向にある児童生徒の割合（中学校2年女子）	9.4 %	9.1 %	8.0 %	*** %	*** %	112.1 %
【指標の説明】平成24年度まで抽出校で実施、平成25年度から全校実施。肥満傾向とは、高度肥満、中等度肥満、軽度肥満に該当する児童生徒（その他の区分は、正常、やせ、高度やせ）						
全国体力・運動習慣等調査における実技について、本市の平均が全国の平均を上回った種目の割合	17/34 種目	21/34 種目	17/34 種目	*** 種目	*** 種目	81.0 %
【指標の説明】平成24年度まで抽出校で実施、平成25年度から全校実施。肥満傾向とは、高度肥満、中等度肥満、軽度肥満に該当する児童生徒（その他の区分は、正常、やせ、高度やせ）						

5 平成25年度の取組状況

【子どもの健康の保持増進】

学校保健安全法に基づき、各小・中学校に配置した学校医、学校歯科医、学校薬剤師による児童生徒の身体、視力、聴力、う歯等に関する定期健康診断や、尿検査、心電図検査、結核検査、就学時健康診断などの健康診断を実施し、その結果により必要と認められる場合は、学校から児童生徒及び保護者に対し治療勧告等を実施しました。

インフルエンザ蔓延防止のため、発生時期に合わせ小・中学校におけるインフルエンザ様症状による欠席や臨時休校の情報を集約し、市のホームページで注意喚起を行い、また、学校事故の防止を図るため、「校内事故防止月間」を実施しました。

【安全・安心で栄養バランスがとれたおいしい学校給食の充実】

学校給食施設については、施設・設備の適切な維持管理を行うとともに、学校給食職員の夏期研修会等において衛生管理の徹底を図った結果、施設の不具合等による給食停止はありませんでした。

小学校給食センターが平成26年3月31日に施設が完成し、食物アレルギー対応食を提供することが可能となりました。

また、「青森市学校給食における食物アレルギー対応管理マニュアル」を作成し、各小・中学校へ配付するとともに、平成26年2月に各校の給食担当者・養護教諭等を対象に説明会を実施し、周知徹底を図りました。

【子どもの食に対する意識の向上】

子どもが発達段階に応じて、食生活に対する正しい理解と望ましい食生活を身に付けることができるよう、各学校が作成する食に関する指導の全体計画及び年間指導計画に基づいて効果的・継続的に指導するよう計画訪問時に助言しました。

【学校におけるスポーツ機会の充実】

学校におけるスポーツ機会の充実については、子どもたちが、運動やスポーツの楽しさや意義・価値を実感できるよう、小学校の教員を対象とした小学校体育科研修講座や、中学校の保健体育科教員を対象とした中学校保健体育科研修講座を開催し、児童生徒の発達の段階や小学校と中学校の学習内容の系統性を踏まえた授業づくりのポイントについて指導しました。併せて、柔道や剣道など武道についても、中学校の保健体育科教員及び柔道部、剣道部の顧問を対象にした中学校保健体育科実技研修講座を開催し、安全面に配慮した柔道及び剣道の授業の進め方について指導しました。

【子どものケガ等に伴う補償制度の充実】

児童生徒が、学校管理下においてケガをした場合に、速やかに治療を受けることができるよう日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入を推進しました。

6 教育委員会の点検及び評価の結果

成果

【子どもの健康の保持増進】

インフルエンザの注意喚起により、蔓延防止が図られた学校があり、各学校においてもマニュアルの具体的な見直しなどを心がけ、インフルエンザなどの感染症への対応がスムーズでした。また、学校におけるケガなどの学校災害についても「校内事故防止月間」の実施により発生件数は前年度より少なくなりました。

【安全・安心で栄養バランスがとれたおいしい学校給食の充実】

栄養教諭、学校栄養職員、給食主任を対象にした研修講座では、中央講師による豊富な研究実践や現場の実践事例に基づいた講義内容から、学級担任や教科担当との連携の重要性や全体計画の見直し等といった食育推進のために重視しなければいけないことを再確認し、各学校の取組につなげることができました。

【子どもの食に対する意識の向上】

食に関する全体計画及び年間指導計画の作成に関する指導・助言により、小学校において計画が充実してきました。

食に関する指導の全体計画及び年間指導計画の作成に関する指導・助言により、小学校においては、各教科の学習内容や学校行事等と関連が図られた、より実効的な計画に見直ししました。

栄養教諭、学校栄養職員による指導により、児童生徒の成長期の栄養や朝食の重要性、地域の食文化等に関する指導の充実が図られました。

【学校におけるスポーツ機会の充実】

肥満傾向にある児童生徒の割合で、前年度を下回ったのは小学5年生男子と中学2年生女子で、小学5年生女子と中学2年生男子は、前年度を上回りました。また、実技については、本市の平均が全国を上回った種目の割合は、34種目中17種目となり、平成24年度と同じ割合でした。

全ての中学校では、教育委員会が作成した「中学校武道の授業 安全指導のためのガイドライン」を踏まえた指導を行うとともに、万が一、事故が発生した際の対応についてまとめた危険発生時等対処要領を作成し、体育活動中の事故防止のための校内研修を実施していることから、生徒が安全に武道に親しむことができました。

【子どものケガ等に伴う補償制度の充実】

日本スポーツ振興センター災害共済給付制度の趣旨や内容に関する情報を保護者に提供することにより、ほぼ全員が加入しました。

課題

【安全・安心で栄養バランスがとれたおいしい学校給食の充実】

小学校給食センターの対象校では、食物アレルギー対応食の提供を開始しておりますが、食物アレルギー対応食の未実施校（小学校・中学校）への提供が求められております。

【子どもの食に対する意識の向上】

中学校では、小学校の学習内容や子どもの発達段階を踏まえた、系統性のある食に関する指導計画の作成や見直しが求められています。指導の実践に当たっては、学校、家庭、地域の連携強化が必要となっています。

栄養教諭が配置されていない学校へ講師を派遣し、食育の指導を行っておりますが、指導計画立案や指導体制づくり、食物アレルギーのある児童生徒の増加、肥満傾向などの児童生徒に対するきめ細かい指導が徹底されておられません。

【学校におけるスポーツ機会の充実】

肥満傾向に対する4つの指標のうち2つの指標で前年度を下回り、運動不足などの要因で一部児童生徒の肥満傾向が高くなっています。また、実技については、前年度と同じ割合でした。中学校の「武道の授業」については、継続して事故防止に努めていくことが大切です。

【子どものケガ等に伴う補償制度の充実】

日本スポーツ振興センター災害共済給付制度に加入はしても、十分な活用が行われなかった事例があります。

今後の方向性

【子どもの健康の保持増進】

子どもの健康の保持増進を図るため、引き続き学校保健安全法に基づき、各小・中学校に配置した学校医、学校歯科医、学校薬剤師による児童生徒の身体、視力、聴力、う歯等に関する定期健康診断などの健康診断を実施し、その結果により必要と認められる場合は、学校から児童生徒及び保護者に対し治療勧告等や、インフルエンザ蔓延防止のため、発生時期に合わせ小・中学校におけるインフルエンザ様症状による欠席や臨時休校の情報を集約し、市のホームページで注意喚起を行い、また学校事故の防止を図るため、「校内事故防止月間」を実施し、その結果に基づき、更なる意識啓発を図ります。

【安全・安心で栄養バランスのとれたおいしい学校給食の充実】

食物アレルギー対応食の未実施校について、早期に提供できるよう検討していきます。

学校給食における地産地消の取組については、引き続きリンゴやカシスなどの地元産品を給食に活用し、学校給食の充実に取り組みます。

【子どもの食に対する意識の向上】

食に関する指導については、各教科等と関連を図った食に関する指導の全体計画及び年間指導計画に基づき、学校給食を「生きた教材」として活用しながら、学校、家庭、地域が連携して効果的・継続的に取り組むよう働きかけます。

栄養教諭・学校栄養職員を対象にした研修講座において、課題の解決につながるテーマを設定します。

【学校におけるスポーツ機会の充実】

運動やスポーツの楽しさ、意義・価値を実感できる指導については、研修講座や学校訪問の実施及び実践指導事例集の作成を通じて、体を動かす楽しさや心地よさを味わわせ、運動意欲を高める授業づくりのポイントについて指導・助言し、教員の指導力向上に努めるとともに、児童生徒の体力向上につながる様々な取組を紹介していきます。

安全性を確保した武道の指導については、各中学校に対して、教育委員会が作成した「中学校武道の授業 安全指導のためのガイドライン」を踏まえた指導を行うよう、引き続き指導していきます。

【子どものケガ等に伴う補償制度の充実】

日本スポーツ振興センター災害共済給付制度の利用の意義や必要性について周知し、全児童生徒の加入を目指すとともに、適切な活用を推進していきます。

(参考) 施策を構成する事務事業

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業区分	担当課	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
				決算額	決算額	決算額	予算額
5070101	学校医等嘱託事業	継続	学務課・教育課	74,997	72,389	69,554	69,755
5070010	児童生徒保健衛生管理事業	継続	学務課・教育課	32,231	31,001	31,499	33,460
5070011	学校環境衛生管理事業	継続	学務課	511	499	618	634
5070012	学校保健安全推進事業	継続	学務課	5,006	4,926	3,342	3,341
5070023	学校災害共済給付及び災害賠償補償関係事務	継続	学務課	24,422	23,716	23,285	23,407
5070032	学校保健会運営事業(負担金)	継続	学務課	365	355	349	344
5077002	給食費収納対策事務	継続	学校給食課	151	122	134	206
5077010	小学校給食センター等整備運営事業	終了	学校給食課	9,852	5,106	2,466,471	-
5077003	給食運営事業(小学校)	継続	学校給食課	801,591	785,393	754,162	1,267,587
5077004	給食運営事業(中学校)	継続	学校給食課	598,085	592,494	593,310	474,253
5077005	給食施設維持管理事業(小学校)	継続	学校給食課	104,629	107,698	111,460	74,723
5077006	給食施設維持管理事業(中学校)	継続	学校給食課	58,108	71,123	74,338	72,584
5077008	小学校給食改善・充実対策事業(負担金)	継続	学校給食課	69	65	65	44
5077009	中学校給食改善・充実対策事業(負担金)	継続	学校給食課	13	12	12	13
-	学校施設等整備事業(小学校給食施設)	終了	学校給食課	-	-	1,100	-
5080047	教職員研修事業	継続	指導課	3,804	3,644	3,357	4,048
5080008	学校教育指導方針推進事業	継続	指導課	-	-	-	-
5080007	実践指導事例集作成事業	継続	指導課	-	-	-	-
5080009	学校訪問教育指導事業	継続	指導課	197	196	194	238

1 施策名

基本施策4	特別なニーズのある子どもたちを支えます。
—	【施策4-1】 障がいのある子どもの望ましい就学の実現
—	【施策4-2】 障がいのある子どもの自立と社会参画に向けた能力の育成
—	【施策4-3】 帰国児童生徒、外国人の子どもたちに対する学習支援

2 現状と課題（計画の抜粋）

小・中学校では、特別支援学級の児童生徒数が増加し、通常学級にも特別に支援を必要とする児童生徒（発達障がいのある児童生徒又は疑われる児童生徒）が多数在籍しています。また、一部ではありますが、日本語指導が必要な児童生徒も在籍しています。

このことから、特別なニーズのある子どもたちを支えるため、障がいのある児童生徒に対し、望ましい就学環境を提供し、将来的な自立と社会参加に向けた能力を育む必要があります。また、日本語指導が必要な児童生徒が在籍する場合には、日本語の習熟度に合せた学習支援が求められています。

3 施策の概要（計画の抜粋）

- ・障がいのある子どもの望ましい就学を実現するため、年4回就学判断会議を開催し、速やかな就学指導を実施しています。
- ・また、通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒一人一人のニーズに応じた教育を実施するため、児童生徒の状況に応じて、特別支援教育支援員を配置します。
- ・現在ある特別支援学級及び言語通級指導教室に加え、通常学級におけるLD（学習障害）・ADHD（注意欠陥多動性障害）のある児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導を行う、LD・ADHD通級指導教室を開設します。
- ・情緒障がい等の児童生徒の教育環境のさらなる向上を図るため、情緒障がい等に対応した特別支援学校の設置等について、国・県に対し、働きかけます。
- ・特別支援学級における指導を充実させるため、特別支援教育に関する研修講座や学校訪問、研究会等を通して指導・助言するとともに、児童生徒の障がいの程度に応じた工夫ある指導の実践例を「指導事例集」にまとめ、全ての小・中学校に配付します。また、通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒に対する指導や支援を充実させるため、個別的教育支援計画や個別の指導計画の作成と、その活用を働きかけます。
- ・日本語指導が必要な児童生徒の把握に努め、必要に応じて、日本語の習熟に合わせた、下学年の学習内容による指導、個別の指導者の配置など、指導体制を整備します。

4 基本施策の目標とする指標と取組状況

指標名	基準値 (H24)	目標値 (H27)	実績値			現時点での達成率
			H25	H26	H27	
学校評価における特別支援教育に対する保護者の評価の平均	3.2 pt	3.3 pt	3.2 pt	*** pt	*** pt	97 %
<p>【指標の説明】 各学校が教育委員会に報告する学校評価実施報告書における特別支援教育（特別な教育的支援を必要とする子どもへの適切な指導・支援に努めている。）に対する保護者の評価の平均</p> <p>評価は、4段階（4が最大、1が最小）で実施し、4段階の達成基準は各学校が独自に設定</p>						

5 平成25年度の実績状況

【障がいのある子どもの望ましい就学の実現】
障がいのある子どもの望ましい就学の実現のため、全小・中学校の特別支援教育コーディネーター対象の研修会や保護者対象の説明会を実施し、就学指導について周知しました。
また、速やかな就学指導を図るため、年4回の就学判断会議を開催し、205件の就学指導を実施しました。

【障がいのある子どもの自立と社会参画に向けた能力の育成】
通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒一人一人のニーズに応じた教育を実現するため、小学校23校及び中学校6校に1名ずつ29名の特別支援教育支援員を配置しました。
また、現在ある特別支援学級及び言語通級指導教室に加え、通常学級に在籍するLD・ADHDのある児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導を行う、LD・ADHD通級指導教室を開設するため、浪打小学校、長島小学校において、「LD・ADHD等の児童生徒を対象とした通級による指導の在り方」についての研究事業を実施し、校内通級児童を対象とした指導や支援について研究しました。
さらに、通級指導教室担当者の研修会等を実施し指導力の向上を図り、平成26年度の開設に備えました。
特別支援学級における指導を充実させるため、特別支援教育に関する特別支援基礎研修講座、特別支援教育研修講座や学校訪問を通して指導・助言をしました。また、児童生徒の障がいの程度に応じた工夫ある指導について、小学校及び中学校それぞれの実践例を「指導事例集」にまとめ、全ての小・中学校に配付しました。

【帰国児童生徒、外国人の子どもたちに対する学習支援】
本市においては、日本語指導が必要な児童生徒の割合は非常に少ない状況にありますが、対象となる児童生徒の状況把握に努めました。

6 教育委員会の点検及び評価の結果

成果
<p>【障がいのある子どもの望ましい就学の実現】【障がいのある子どもの自立と社会参画に向けた能力の育成】 全小・中学校の特別支援教育コーディネーターを対象とした研修会や保護者対象の説明会の実施により、就学指導について周知が図られました。 通常学級におけるLD・ADHDのある児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導を行うLD・ADHD通級指導教室を開設するため、浪打小学校、長島小学校において、「LD・ADHD等の児童生徒を対象とした通級による指導の在り方」についての研究事業を実施したことで、平成26年度の開設に向けた準備が整いました。 特別支援教育支援員を配置したことで、通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒が、一人一人の実態に応じた支援を受けながら学習に取り組むことができました。 これらの取組の結果、学校評価における特別支援教育に対する保護者の評価の平均は、基準値と同じとなりました。 教育研修センターに就学指導室を開室したことにより、随時、就学検査や就学指導を行うことが可能になり、子どもや保護者の不安や負担の軽減につながりました。</p>
課題
<p>【障がいのある子どもの自立と社会参画に向けた能力の育成】 中学校におけるLD・ADHD通級指導教室の開設に向けた準備を早期に進める必要があります。 通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒が増加傾向にあります。 国の基準である特別支援学級児童生徒8名に対し、教員の定数が1名では、教員の負担が大きくなっています。 インクルーシブ教育（障がいのある者となない者が共に学ぶことを通して共生社会の実現に貢献しようという考え方）の理念を子どもの立場に立って具現化することが求められています。 障がいのある児童生徒のうち、登校できない児童生徒への理解や対応が求められています。</p>
今後の方向性
<p>【障がいのある子どもの望ましい就学の実現】【障がいのある子どもの自立と社会参画に向けた能力の育成】 障がいのある子どもの望ましい就学の実現のため、就学相談や就学検査等に対応する就学検査員を、平成26年度1名増員し、速やかに対応できる体制の充実を図ります。 浪打小学校、長島小学校に開設したLD・ADHDの通級指導教室の充実を図るとともに、浪打中学校、浦町中学校に「LD・ADHD等の児童生徒を対象とした通級による指導の在り方」についての研究事業を実施し、平成27年度の開設に向けた準備を行います。 また、平成27年度、中学校のLD・ADHDの通級指導教室の開設について、広報あおもりやHP、就学指導リーフレットへの掲載、校長会、教頭会での連絡等を通じて、各学校へ周知してまいります。 小・中学校のLD・ADHD通級指導教室における成果と課題を検証し、実態を把握した上で、更なる教室の充実と増加を目指します。 通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒が増加傾向にあることから、複数配置など、より実態に即した支援員の配置を図っていきます。 特別支援学級の教員定数の是正について、国や県に働きかけていきます。 特別支援学級に在籍する児童生徒が、交流学級で一部の授業を受ける機会を充実させたり、LD・ADHD通級指導教室における指導を充実させるよう指導助言に努めます。 障がいのある児童生徒のうち、登校できない児童生徒について、教育相談室と学校が連携しながら、早期に登校できるよう取り組んでいきます。 【帰国児童生徒、外国人の子どもたちに対する学習支援】 帰国児童生徒、外国人の子どもたちに対する学習支援を図るため、引き続き対象となる児童の把握に努めます。また、過去の日本語指導の指導体制や指導方法等について、既習事項、学習内容の定着の程度など、子どもの実態を細かく把握、検証し、より効果的な指導の在り方について明らかにしてまいります。</p>

(参考) 施策を構成する事務事業

(単位：千円)

事業番号	事務事業名	事業区分	担当課	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
				決算額	決算額	決算額	予算額
5070115	特別支援教育支援員配置事業	継続	学務課	20,069	19,919	19,909	24,317
5080007	実践指導事例集作成事業	継続	指導課	-	-	-	-
5080008	学校教育指導方針推進事業	継続	指導課	-	-	-	-
5080009	学校訪問教育指導事業	継続	指導課	197	196	194	238
5050016	特別支援教育充実対策事業(負担金)	継続	指導課	205	209	217	233
5080022	教育相談適応指導事業	継続	指導課	248	219	207	234
5080047	教職員研修事業	継続	指導課	3,804	3,644	3,357	4,048
5080058	就学指導委員会事務	拡充	指導課	992	5,905	5,352	7,875

1 施策名

基本施策5	子どもが未来へ飛躍できる能力・意欲を育みます。
—	【施策5-1】 子どもの様々な体験活動の充実
—	【施策5-2】 子どもの社会的・職業的自立に向けた必要な能力の育成
—	【施策5-3】 子どもの国際的な体験機会の充実
—	【施策5-4】 子どもが理数教科に興味を持つ機会の充実
—	【施策5-5】 子どもが文化・芸術に興味を持つ機会の充実
—	【施策5-6】 子どもの情報活用能力の育成
—	【施策5-7】 子どもが現代的・社会的な課題に対応できる能力の育成

2 現状と課題（計画の抜粋）

グローバル化や情報化の進展などにより予想を超えたスピードで社会は変化していることから、子どもや若者がこの変化する社会を生き抜くためには、幅広い知識・教養と柔軟な思考力に基づいて新しい価値を創造したり、他者と協働したりする能力等が求められています。

このことから、子どもが未来へ飛躍できる能力・意欲を育むため、他者との関わり合いや様々な分野の体験などの活動の充実を図るとともに、望ましい勤労観・職業観、外国語を通じてコミュニケーションを図ろうとする態度、情報活用能力などを育成する必要があります。

3 施策の概要（計画の抜粋）

- ・宿泊型の自然体験活動を充実させるため、全ての小学校で宿泊型の自然体験活動を実施します。
- ・小・中連携によるキャリア教育を推進するため、職場見学の成果や課題、先進的な取組状況について各学校に情報提供します。
- ・家庭と連携したキャリア教育を推進するため、家庭での役割や取組方法について各学校に周知します。
- ・全ての小・中学校において、引き続き、外国語指導助手等を活用できるような配置を工夫します。
- ・情報機器を活用した授業等の指導方法について、研修講座などを通じて各学校を指導します。
- ・小・中連携による人権、環境、防災等に関する指導について情報を発信します。
- ・ESD¹（持続可能な開発のための教育）に関する組織的、継続的な取組について、実施の可能性について検討します。

4 基本施策の目標とする指標と取組状況

指標名	基準値 (H24)	目標値 (H27)	実績値			現時点での達成率
			H25	H26	H27	
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（小学6年生）	88.2 %	90.0 %	89.8 %	*** %	*** %	99.8 %
	【指標の説明】全国学力・学習状況調査における「将来の夢や目標を持っているか」という質問項目に対し、「持っている」「どちらかと言えば持っている」と回答した割合					
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（中学3年生）	75.0 %	80.0 %	77.2 %	*** %	*** %	96.5 %
	【指標の説明】全国学力・学習状況調査における「将来の夢や目標を持っているか」という質問項目に対し、「持っている」「どちらかと言えば持っている」と回答した割合					

1 ESD：環境、貧困、人権、平和などの現代社会の問題を、自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと。

5 平成25年度の取組状況

【子どもの様々な体験活動の充実】
 宿泊型の自然体験活動を充実させるため、全ての小学校で宿泊型の自然体験活動を実施しました。

【子どもの社会的・職業的自立に向けた必要な能力の育成】
 学校訪問や研修講座、小・中連携連絡会議・成果発表会を通じて、研究指定校の取組等を紹介するなど、小・中連携によるキャリア教育の重要性と方策について情報共有できるようにしました。
 家庭におけるキャリア教育の重要性について、学校訪問や研修講座等を通して各学校を指導しました。

【子どもの国際的な体験機会の充実】
 外国語指導助手等を全ての小・中学校で活用できるよう、中学校を拠点に14名配置するとともに、授業以外の様々な活動においても活用できるよう、配置方法等を工夫しました。

【子どもが理数教科に興味を持つ機会の充実】
 基本方向2基本施策12（青少年の健全な成長を支えます。）に掲載

【子どもが文化・芸術に興味を持つ機会の充実】
 基本方向2基本施策12（青少年の健全な成長を支えます。）に掲載

【子どもの情報活用能力の育成】
 インターネットによる情報の検索方法等の指導方法について、研修講座などを通じ、各学校を指導しました。

【子どもが現代的・社会的な課題に対応できる能力の育成】
 小・中連携事業において、中学校区の実態に応じて人権、環境保全、防災等について指導を研究し、連絡会議や成果発表会を通して、研究指定校の取組等を紹介しました。
 学校教育指導方針推進事業により、学校訪問等を通して、ESD（持続可能な開発のための教育）の内容について周知しました。

6 教育委員会の点検及び評価の結果

成果

【子どもの様々な体験活動の充実】
 全ての小学校で宿泊型の自然体験活動を実施し、体験活動の充実が図られました。

【子どもの社会的・職業的自立に向けた必要な能力の育成】
 学校訪問や研修講座、連絡会議や成果発表会を通じて、研究指定校の取組等を紹介し、小・中連携によるキャリア教育の重要性と方策について情報提供を行い、キャリア教育の推進を図った結果、将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合が基準値を上回りました。

【子どもの国際的な体験機会の充実】
 外国青年15名（外国語指導助手14名、国際交流員1名）を配置することで、全ての小・中学校が外国語指導助手等をたくさんの時間活用することが可能となり、子どもの国際的な交流機会を充実させることができました。

【子どもの情報活用能力の育成】
 インターネットによる情報の検索などをはじめとした、情報機器を活用した研修講座などを開催し、子どもの情報活用能力の育成が図られました。

【子どもが現代的・社会的な課題に対応できる能力の育成】
 小中連携事業において、それぞれの地区の実態に応じて人権、環境保全、防災等について指導を研究し、連絡会議や成果発表会を通して、研究指定校の取組等を紹介した結果、子どもが現代的・社会的な課題に関心を持ち、対応できる能力の育成が図られました。

課題

【子どもの社会的・職業的自立に向けた必要な能力の育成】
 家庭や地域と連携して、各小・中学校が行う地域教材の学習や体験学習の内容の充実が図られていません。

【子どもの情報活用能力の育成】
 インターネット上の誹謗中傷やいじめ、有害情報などの情報化の影の部分に対する問題を未然に防ぐことが求められています。

【子どもが現代的・社会的な課題に対応できる能力の育成】
 ESDに関する組織的、継続的な取組について検討することが求められています。

今後の方向性

【子どもの様々な体験活動の充実】
 子どもの様々な体験活動の充実を図るため、引き続き小学校において宿泊型の自然体験活動を実施するとともに、初任者研修における宿泊研修講座をはじめとする研修講座において、実践的な指導方法等について指導・助言します。
 また、地域の人材バンクの作成・活用について、学校に働きかけていきます。

【子どもの社会的・職業的自立に向けた必要な能力の育成】
 子どもの社会的・職業的自立に向けた必要な能力の育成を図るため、引き続き学校訪問や研修講座、成果発表会等を通じて、研究指定校の取組を紹介するなど、小・中連携によるキャリア教育の重要性と方策について情報提供することで、児童生徒の将来の夢や希望を育むキャリア教育を推進します。

【子どもの国際的な体験機会の充実】
 子どもの国際的な体験機会の充実を図るため、引き続き全ての小・中学校で外国語指導助手等の活用を重視していきます。

【子どもの情報活用能力の育成】
 インターネットによる情報の検索方法といった、情報機器を活用して行う授業の指導方法について、道徳や技術・家庭科の内容を踏まえ、望ましい情報社会の実現に参画する態度を育むため、コンピュータ基礎研修講座やコンピュータ室活用研修講座等を通じて、教員の指導力向上を目指します。

【子どもが現代的・社会的な課題に対応できる能力の育成】
 「学校課題解決のための小・中連携推進事業」において、それぞれの地区の実態に応じて人権、環境保全、防災等について指導方法を研究し、連絡会議や成果発表会を通して、研究指定校の取組等を紹介し、啓蒙していきます。
 ESDについては、各学校で実践している環境教育、人権教育、国際理解教育等について、学校訪問や小中連携事業を通して、引き続き支援するとともに、その内容について周知を図るとともに、組織的、継続的な取組について検証・検討していきます。

(参考) 施策を構成する事務事業

(単位：千円)

事務事業		事業区分	担当課	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
事業番号	事務事業名			決算額	決算額	決算額	予算額
5080007	実践指導事例集作成事業	継続	指導課	-	-	-	-
5080008	学校教育指導方針推進事業	継続	指導課	-	-	-	-
5080029	小・中連携教育課程研究開発事業	継続	指導課	450	576	576	576
5080047	教職員研修事業	継続	指導課	3,804	3,644	3,357	4,048

1 施策名

基本施策6	子どもたちの公平な教育機会を確保します。
—	【施策6-1】 経済的・地理的条件が不利な子どもたちに対する支援
—	【施策6-2】 経済的な理由により進学が困難な者に対する修学機会の充実
—	【施策6-3】 東日本大震災により被災した子どもに対する就学・学習支援
—	【施策6-4】 保護者負担の軽減

2 現状と課題（計画の抜粋）

国においては、経済状況等による進学機会や学力等の差がその後の就労・賃金等の格差にもつながると指摘がある中、教育費負担の軽減や、経済的、地理的条件が不利な子どもに対する支援を掲げています。
本市の世帯収入は、全国に比べ低く、また、遠距離通学の児童生徒が多数在籍していることから、経済的、地理的要因等が不利な子どもたちに対し、公平な教育機会を確保するため、引き続き、支援していく必要があります。

3 施策の概要（計画の抜粋）

- ・経済的条件が不利な児童生徒が学校に通えるよう、経済的負担軽減を図るため、引き続き、就学援助制度により就学に係る学用品費等を支給します。また、当該制度の実施に当たっては、各学校を通じた周知の徹底、市の関連窓口における当該制度の紹介など、引き続き、広く周知します。
- ・遠距離通学となる児童生徒の利便性の向上や、安全性を確保するため、引き続き、通学費の支給及びスクールバス等の運行を実施します。
- ・奨学金の受給を希望する者が受給できるよう、全国的に増加している奨学金制度の把握に努め、より良い条件の奨学金制度を紹介するなど、様々な奨学金の受給を支援します。
- ・東日本大震災により被災した児童生徒の把握に努め、引き続き、就学援助や手続きの簡素化などの支援を実施します。また、被災した児童生徒及び保護者の精神的不安を解消するため、スクールカウンセラーによる継続的な相談体制を整備します。
- ・保護者の負担を軽減するため、引き続き、小学校(3・4学年)で使用する社会科及び小・中学校で使用する道徳の副読本を無償で給与します。
- ・特別支援学級等に在籍する保護者の負担を軽減するため、国の特別支援教育就学奨励費の制度に基づき、特別支援学級等に在籍する児童生徒の保護者に対し、引き続き、学用品費等を支給します。

4 基本施策の目標とする指標と取組状況

指標名	基準値 (H24)	目標値 (H27)	実績値			現時点での達成率
			H25	H26	H27	
経済的理由のみによる長期欠席者数	0.0 人	0.0 人	0.0 人	*** 人	*** 人	100.0 %
【指標の説明】学校基本調査における連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒のうち、経済的理由のみによる児童生徒数						

5 平成25年度を取組状況

【経済的・地理的条件が不利な子どもたちに対する支援】【経済的な理由により進学が困難な者に対する修学機会の充実】
就学援助制度については、引き続き学用品費等の支給及び当該制度の周知を行うとともに、年度後半には職員体制の充実を図り、平成25年度中に行う在校生分の平成26年度就学援助認定作業を迅速化し、これにより翌年度（平成26年度）における学用品費等の支給の早期化を図りました。

スクールバスについては、平成25年9月に大雨災害により、孫内地区の児童生徒のスクールバスのルートが分断されましたが、速やかにタクシー通学に切り替え、孫内地区の児童生徒の通学手段を確保しました。さらに、久栗坂小学校・原別小学校、浅虫中学校・東中学校の通学区域再編に伴い、久栗坂地区と原別小学校間、浅虫地区・久栗坂地区と東中学校間を平成26年4月1日から運行します。また、浪岡地区においてはスクールバスが老朽化したため、平成25年度に5台の更新を行いました。

【東日本大震災により被災した子どもに対する就学・学習支援】
東日本大震災により被災した児童生徒については、引き続きその把握に努め、就学援助や手続の簡素化などの支援を実施しました。また、被災児童生徒及びその保護者を対象としたスクールカウンセラー相談体制を整備しました。

【保護者負担の軽減】
副読本については、引き続き必要な全ての子どもたちに対し無償で給与しております。
特別支援学級等に在籍する保護者の負担軽減のための学用品費等の支給については、平成25年度における国の特別支援教育就学奨励費の制度に基づき実施しました。

6 教育委員会の点検及び評価の結果

成果
<p>【経済的な理由により進学が困難な者に対する修学機会の充実】 経済的条件が不利な児童生徒への就学援助制度による学用品費の支給等により、平成25年度も経済的理由のみによる長期欠席者数は0人となりました。</p>
課題
<p>【経済的な理由により進学が困難な者に対する修学機会の充実】【経済的・地理的条件が不利な子どもたちに対する支援】 就学援助制度については、更なる保護者負担軽減のため、新学期の学用品費等の経費等について支給時期の早期化が求められています。また、スクールバス等の運行については、通学状況に応じた適切な運行時間、経路等での運行が求められています。</p>
今後の方向性
<p>【経済的・地理的条件が不利な子どもたちに対する支援】【経済的な理由により進学が困難な者に対する修学機会の充実】 今後も、自然災害や予期せぬ事態も含めて経済的理由によって、児童生徒の就学が困難とならないよう、就学援助の実施方法については随時検証を行っていくとともに、更なる保護者負担の軽減を図るため、平成26年度中に行う在校生分の就学援助認定作業を早期に実施します。 また、スクールバス等の運行については、通学状況に応じた適切な経路等での運行を実施します。 【東日本大震災により被災した子どもに対する就学・学習支援】 東日本大震災により被災した子どもに対する就学・学習支援を図るため、引き続き被災した児童生徒の把握に努め、就学援助や手続の簡素化などの支援を実施するとともに、被災児童生徒及びその保護者を対象としたスクールカウンセラー相談を行ってまいります。 【保護者負担の軽減】 保護者負担の軽減を図るため、引き続き副読本の無償給与を継続するとともに、特別支援学級等に在籍する保護者の負担軽減のため、国の特別支援教育就学奨励費の制度に基づき、学用品費等の支給を実施します。</p>

(参考) 施策を構成する事務事業

(単位：千円)

事業番号	事務事業名	事業区分	担当課	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
				決算額	決算額	決算額	予算額
5070124	就学援助事業(補助)	継続	学務課	8,066	6,863	7,084	6,542
5070125	就学援助事業(単独)	継続	学務課	238,005	241,433	238,996	262,459
5070123	児童生徒医療扶助事業(補助)	継続	学務課	1,115	1,018	951	841
5070104	スクールバス運営事業(青森地区)	拡充	学務課	44,957	52,568	63,747	103,995
5070107	奨学金貸付事業	継続	学務課	14,994	15,042	11,909	12,698
5070126	就学援助事業(災害支援)	継続	学務課	855	237	387	684
5070127	児童生徒医療扶助事業(災害支援)	継続	学務課	20	16	-	136
5070103	学籍関係事務	継続	学務課	490	516	497	555
5070130	教科用図書無償給与事務	継続	学務課	24,914	19,498	-	-
5070131	小中学校副読本支給事業	継続	学務課	-	-	19,289	19,340
5070004	校外学習支援事業(青森地区)	継続	学務課	3,540	3,389	3,230	3,319
5070122	新入学児童学用品支給事業	継続	学務課	33,741	21,498	16,589	15,792
5070106	特別支援教育奨励費事業	継続	学務課	2,012	2,256	2,648	2,651
5070123	児童生徒医療扶助事業(単独)	継続	学務課	11,015	9,237	8,355	9,060
5077015	給食扶助事業	継続	学校給食課	259,919	260,683	248,487	256,875
5080023	スクールカウンセラー配置事業	継続	指導課	-	-	-	-
5090030	校外学習支援事業(浪岡地区)	継続	教育課	-	-	589	574
5090029	スクールバス運営事業(浪岡地区)	継続	教育課	25,411	26,944	22,022	23,438
5090025	スクールバス整備事業	拡充	教育課	-	-	79,812	6,791

1 施策名

基本施策7	小・中学校において、きめ細やかで質の高い教育を実現する指導体制を整えます。
—	【施策7-1】 学校規模の適正化
—	【施策7-2】 教職員の資質向上
—	【施策7-3】 教職員の健康の保持増進

2 現状と課題（計画の抜粋）

学校において基本施策1から5に掲げた教育を実現するためには、小・中学校において、ある程度の集団の中でのきめ細やかで質の高い教育を実現する指導体制を整えることが必要です。
 そのため、引き続き学校規模や教職員配置の適正化に努めるとともに、教員の指導力の向上を図ることとともに、教職員自身の健康の保持増進が求められています。

3 施策の概要（計画の抜粋）

- ・学校規模の適正化に向けた通学区域再編について、より良質な環境で学校教育を行うことができる学校規模の確保に向けて、小規模校の中でも、とりわけ学校教育活動が制限されている複式学級を有する小学校及び全学年単学級の中学校を通学区域再編の最優先校とし、保護者や地域の皆様との話し合いを行います。
- ・また、全学年単学級の小学校についても、保護者や地域の皆様など関係する皆様への情報提供や意向把握に努め、その状況に応じて通学区域再編に取り組みます。さらに、少人数学級の実現に向けた国・県への働きかけについて、複雑・多様化する学校教育ニーズへ対応し、教員の子ども一人一人へのよりきめ細かな学習指導・生活指導を可能とするため、少人数学級編制が国や県の制度として実施されるよう、市長会や教育長会などを通じて、少人数学級編制の計画的な実施について強く働きかけます。
- ・青森市教職員の人材育成について、経験年数や職務、地域性等を踏まえた教職員像等を示すため、平成26年度内に青森市教職員人材育成方針を策定します。このため、教職員が具体的に目指していく内容等については、青森市教育振興基本計画の領域から除き、青森市教職員人材育成方針に委ねます。また、青森市教職員人材育成方針を踏まえ、本市教職員の資質を向上させるため、実践的な校内研修の取組、経験年数や職務、本市の課題に対応した校外研修(研修講座等)の実施等について見直し、平成27年度の研修から適用します。
- ・教職員の健康の保持増進について、定期健康診断の結果に基づき、精密検査や医療機関の受診の勧告や、教職員のメンタルヘルスの保持・増進を図るため、長時間勤務を行った教職員を対象に、健康相談医による健康相談を実施します。また、各学校においては、管理職による観察・面談などを通じ、必要に応じて校務分掌の見直しや、複数の教職員による指導体制を構築します。

4 基本施策の目標とする指標と取組状況

指標名	基準値 (H24)	目標値 (H27)	実績値			現時点での達成率
			H25	H26	H27	
学校評価における学習指導に対する児童生徒の評価の平均	3.4 pt	3.5 pt	3.4 pt	*** pt	*** pt	97.1 %
	【指標の説明】各学校が教育委員会に報告する学校評価実施報告書における学習指導（児童生徒に学ぶ喜びを体験させ、確かな学力の向上を図るわかる授業づくりに努めている。）に対する児童生徒の評価の平均 評価は、4段階（4が最大、1が最小）で実施し、達成基準は各学校独自。					
学校評価における学習指導に対する保護者の評価の平均	3.1 pt	3.2 pt	3.1 pt	*** pt	*** pt	96.9 %
	【指標の説明】各学校が教育委員会に報告する学校評価実施報告書における学習指導（児童生徒に学ぶ喜びを体験させ、確かな学力の向上を図るわかる授業づくりに努めている。）に対する保護者の評価の平均 評価は、4段階（4が最大、1が最小）で実施し、達成基準は各学校独自。					

5 平成25年度の実績状況

【学校規模の適正化】
 通学区域再編については、「通学区域再編による教育環境の充実に関する基本計画（H20.4策定）」に基づき、学校規模の適正化と適正配置のため、既存学校施設の活用を念頭に、再編の姿と実施時期、通学支援など、再編に向けた具体的な内容を、保護者や地域の皆様との緊密な連携と話し合いのもと、地域の実情を踏まえ、久栗坂小学校と浅虫中学校の通学区域再編に取り組みました。
 少人数学級編制の実現については、平成24年度に引き続き、国、青森県へ少人数学級編制が国や県の制度として実施されるよう要望しました。

【教職員の資質向上】
 教職員の資質向上については、各種学力検査等の結果から児童生徒の現状と課題を把握し、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と、思考力・判断力・表現力を育成するための言語活動の充実を図った学習指導の在り方について、研修講座や学校訪問において、指導・助言しました。また、経験年数に応じた法定研修である初任者研修、10年経験者研修に加え、5年経験者研修と、平成25年度からは、本市の課題に応じ経験2年目の教員、経験3年目の教員にもそれぞれ受講する研修講座を指定し、指導力向上を図っています。

【教職員の健康の保持増進】
 教職員の健康の保持増進について、身体、視力、聴力、血圧等の健康診断を実施し、必要と認められる場合は、治療勧告を行いました。

6 教育委員会の点検及び評価の結果

成果
<p>【学校規模の適正化】 久栗坂小学校と浅虫中学校の通学区域再編に取り組み、平成26年度からそれぞれ、原別小学校との統合及び東中学校との段階的な統合となり、児童生徒は、地域や学校の理解のうえ、良好な学校生活を送っています。</p> <p>【教職員の資質向上】 学校評価における学習指導に対する評価の平均は、児童生徒、保護者ともに前年度の横ばいとなっておりますが、県学習状況調査の結果については、小学校において、平均通過率の県平均との差がマイナスからプラスに転じてきており、中学校においては、平均正答率に大きな変化はないものの、郡市別の順位で上位を維持しています。</p> <p>また、各学校とも、個々には多少の課題は抱えながらも、全般的に落ち着いた雰囲気での学習指導、生徒指導、学校行事等に取り組んでいます。</p>
課題
<p>【学校規模の適正化】 新たに複式学級を有することになった小学校及び全学年単学級の学校について、保護者や地域の皆様など関係する方々の思いや考えを把握するとともに、これまでの通学区域再編の状況を含む教育環境に係る情報提供に努め、地域と連携しながら通学区域再編を慎重に進めて行く必要があります。</p> <p>【教職員の資質向上】 引き続き学校訪問や研修講座を通して研修体制の充実を図り、研修の日常化に努めていく必要があります。</p>
今後の方向性
<p>【学校規模の適正化】 「通学区域再編による教育環境の充実に関する基本計画（H20.4策定）」に基づき、新たに複式学級を有することになった小学校及び全学年単学級の学校について、子どもの教育環境の充実を最優先に考え、保護者や地域の皆様など関係する方々の思いや考えを把握するとともに、これまでの通学区域再編の状況を含む教育環境に係る情報提供に努め、地域と連携しながら通学区域再編を慎重に進めていきます。</p> <p>【教職員の資質向上】 教職員の資質向上を図るため、引き続き各学校における研修体制の充実、研修の日常化のために、学校訪問や研修講座の機会に、全国の成果を上げている学校の事例など優れた実践について情報を収集し教職員へ還元するなど、きめ細やかな指導・助言に努めます。また、全国や県の学習状況調査の結果分析を踏まえ、弱点を克服するための授業改善を目指し、指導事例集を活用した更なる指導の充実を図ります。</p> <p>【教職員の健康の保持増進】 教職員の健康の保持増進を図るため、引き続き健康診断及び治療勧告を継続していきます。また、教職員の研修講座等を活用し、メンタルヘルス等を含めて心と体への健康への更なる意識啓発を進めるとともに、校長会、学校訪問を通じて、校長へ教職員の健康保持への意識向上を図ります。</p>

(参考) 施策を構成する事務事業

(単位：千円)

事業番号	事務事業名	事業区分	担当課	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
				決算額	決算額	決算額	予算額
5070116	通学区域再編事業	継続	学務課	702	747	861	41
5070010	児童生徒保健衛生管理事業	継続	学務課・教育課	32,231	31,001	31,499	33,460
5080007	実践指導事例集作成事業	継続	指導課	-	-	-	-
5080008	学校教育指導方針推進事業	継続	指導課	-	-	-	-
5080009	学校訪問教育指導事業	継続	指導課	197	196	194	238
5080044	市町村指導主事研修事業	継続	指導課	39	47	31	25
5080047	教職員研修事業	継続	指導課	3,804	3,644	3,357	4,048
5080031	教育研修センター運営事業	継続	指導課	37,205	32,351	30,492	32,474

1 施策名

基本施策8	小・中学校において、質の高い学びを実現する環境を整えます。
—	【施策8-1】 安全・安心な学校施設の維持・管理
—	【施策8-2】 良好で質の高い学校施設の整備
—	【施策8-3】 質の高い教材等の整備
—	【施策8-4】 学校における安全確保体制の構築

2 現状と課題（計画の抜粋）

児童生徒が、学校において基本施策1から5に掲げた社会を生きる力を育むためには、児童生徒が学ぶ学校を安全、安心で、質の高い教育を受けられる環境とする必要があります。
このことから、小・中学校において、質の高い学びを実現する環境を整えるため、学校施設や教材等の充実、通学から帰宅に至るまでの安全な教育環境が求められています。

3 施策の概要（計画の抜粋）

- ・学校施設の耐震化については、耐震化が完了していない2校の耐震化を進めるため、西田沢小学校及び小柳小学校の改築工事等を実施します。また、屋内運動場等の吊り天井などの非構造部材の耐震化については、順次、必要な対策を実施します。
- ・老朽化した学校施設については、各学校の状況に応じた、改築、大規模改修、長寿命化などの対策を検討します。
- ・学校施設の改修・改築時には、環境教育に寄与する太陽光発電パネル等の設置によるエコスクール化、災害時の避難所機能の強化としての発電設備の設置、障がい者及び高齢者などに優しいバリアフリー化などを考慮した学校施設を整備します。
- ・教材の整備については、教材整備指針に基づき必要とされる教材の現有状況を把握し、各学校において必要となる教材を順次整備します。また、高額な教材を共有して活用できる仕組みを検討します。
- ・学校・通学路などにおける危険から児童生徒を守るため、各学校においては、月1回の学校施設・設備や、定期的な通学路及び学区内の危険箇所安全点検の実施により危険箇所の把握に努め、必要に応じた改善・指導を実施します。
- ・児童生徒のケガ等の防止を図るため、体育・保健体育、特別活動などあらゆる機会を通じて、危険予測能力や危機回避能力を高めるための安全指導を徹底します。

4 基本施策の目標とする指標と取組状況

指標名	基準値 (H24)	目標値 (H27)	実績値			現時点での達成率
			H25	H26	H27	
教育環境に対する満足度	13.0 %	16.0 %	12.8 %	*** %	*** %	1.3 %
【指標の説明】児童生徒が安心して教育を受けられる環境が整っていると思う市民の割合						

5 平成25年度の実績状況

【安全・安心な学校施設の維持・管理】
学校施設の耐震化については、金沢小学校及び東中学校の改築工事が完成したほか、小柳小学校の地質調査を実施しました。
非構造部材の耐震化については、屋内運動場等で吊り天井がある施設について、耐震性を確認するための調査を実施しました（小学校4校、中学校1校）。

【質の高い教材等の整備】
また、質の高い教材等を整備するため、旧青森市の区域の中学校パソコン教室の教育用パソコン等情報機器及びソフトウェアを更新しました。

【学校における安全確保体制の構築】
児童生徒のケガ等については、1年当たり1400件から1500件も発生していることから、これを防止するため、体育や特別活動などあらゆる機会を通じて、安全指導を実施しました。特に、児童生徒の校内事故防止に対する意欲の喚起を図るため、6月及び9月の2か月間、校内事故防止月間を実施しました。

6 教育委員会の点検及び評価の結果

成果
<p>【安全・安心な学校施設の維持・管理】 金沢小学校及び東中学校の改築工事が完成した結果、小・中学校における耐震化率は、平成26年4月1日現在で小学校98.6%（昨年度は97.2%）・中学校100.0%（昨年度は97.8%）となり、全体で99.0%（昨年度は97.4%）となりました。</p> <p>【良好で質の高い学校施設の整備】 平成25年度に完成した金沢小学校・東中学校の両校舎は、屋上に10Kwの太陽光発電パネルを設置するとともに、バリアフリー化を実施しました。</p>

課題

【安全・安心な学校施設の維持・管理】

非構造部材の耐震化については、一部の学校施設の耐震性を確認する調査が終了しましたが、この結果に基づく耐震工事及び平成25年度調査校を調査する必要があります。

このほか、学校施設の建築年数が30年以上の小・中学校が半数を超える状況となっており、財政環境を踏まえ、老朽化への対策を検討する必要があります。

今後の方向性

【安全・安心な学校施設の維持・管理】

学校施設の耐震化が終了していない西田沢小学校と小柳小学校の工事等を実施するほか、非構造部材の耐震化については、平成25年度の調査結果に基づいた耐震工事及び平成25年度調査校を除く調査を実施します。

また、学校施設の老朽化対策については、市が策定する「公共施設等総合管理計画」に基づく、学校施設の「個別施設計画」を平成27年度に策定するよう検討を進めます。

【良好で質の高い学校施設の整備】

良好で質の高い学校施設の整備を図るため、引き続き青森県再生可能エネルギー等導入推進基金を活用して太陽光発電・LED外灯などの設置を進めます。

【質の高い教材等の整備】

教材等の現状を把握するためのアンケートを実施し、教材整備指針に基づき各学校において必要となる教材を順次整備するとともに、高額な教材等を共有して活用するための具体的な手順案を作成します。

【学校における安全確保体制の構築】

学校における安全確保体制の構築を図るため、引き続き体育や特別活動などあらゆる機会を通じて、児童生徒の安全指導を実施します。

(参考) 施策を構成する事務事業

(単位：千円)

事業番号	事務事業名	事業区分	担当課	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
				決算額	決算額	決算額	予算額
5005002	小学校運営管理事務	継続	総務課	586,907	603,791	608,628	613,319
5005003	小学校教材整備事務	継続	総務課	180,827	99,973	116,515	97,653
5005004	中学校運営管理事務	継続	総務課	268,236	300,132	303,192	312,802
5005005	中学校教材整備事務	継続	総務課	78,611	95,157	76,493	65,493
5005023	情報処理機器運営管理事業	継続	総務課	37,675	35,017	34,404	35,075
5005024	情報処理機器借上事業	終了	総務課	53,429	6,508	2,610	-
5005025	情報処理機器整備事業	終了	総務課	72,490	139,028	129,157	-
5005037	小学校維持管理事業	継続	総務課	71,347	57,759	58,501	69,534
5003038	中学校維持管理事業	継続	総務課	33,383	29,436	31,845	35,060
5005036	学校プール管理事業	継続	総務課	5,257	5,432	5,381	7,247
5005010	小学校改築等移転事務	継続	総務課	961	7,982	11,436	5,072
5005013	中学校改築等移転事務	継続	総務課	1,070	5,324	8,853	1,027
5005044	小学校施設整備事業	継続	総務課	11,581	2,205	44,062	89,577
5005045	中学校施設整備事業	継続	総務課	3,675	630	7,201	219,142
5005056	小学校施設解体事業(単独)	継続	総務課	-	-	595	41,046
5005057	中学校施設解体事業(単独)	継続	総務課	-	-	44,415	-
5005054	小学校非構造部材耐震化事業	継続	総務課	-	-	4,146	279,205
5005055	中学校非構造部材耐震化事業	新規	総務課	-	-	845	110,352
5005053	小学校大規模改修事業	継続	総務課	-	-	14,783	53,259
5005028	小学校耐震診断・改修事業	継続	総務課	600,512	-	11,970	160,531
5505061	西田沢小学校校舎等改築事業(単独)	新規	総務課	-	-	-	44,020
5005030	金沢小学校校舎等改築事業	継続	総務課	67,764	287,118	1,325,244	276,091
5005043	小柳小学校校舎等改築事業	継続	総務課	-	7,637	7,770	56,043
5505031	横内小学校校舎等改築事業	継続	総務課	27,810	417,476	35,543	63,105
5005032	筒井中学校校舎等改築事業	継続	総務課	60,481	497,897	39,699	64,523
5005033	東中学校校舎等改築事業	継続	総務課	38,889	1,035,177	509,163	231,424
5005059	再生可能エネルギー等導入推進基金事業(小学校)	継続	総務課	-	-	4,738	180,427
5005062	再生可能エネルギー等導入推進基金事業(中学校)(補助)	新規	総務課	-	-	-	2,095
5005039	小学校維持修繕事業	継続	総務課	45,653	54,576	68,428	51,888
5003038	中学校維持修繕事業	継続	総務課	19,751	30,516	40,456	32,344
5070007	通学路対象除雪機貸与事業	継続	学務課	1,289	2,394	3,195	16,876

1 施策名

基本施策9	学校・家庭・地域の連携により教育力を高めます。
—	【施策9-1】 社会全体での子どもたちの学びの支援
—	【施策9-2】 地域とともにある学校づくり
—	【施策9-3】 豊かなつながりの中での家庭教育支援

2 現状と課題（計画の抜粋）

学校の教職員だけで義務教育段階における全ての課題を解決することは困難であり、家庭や地域と連携した対応が必要となっています。
このことから、家庭・地域・学校の教育力を高めるため、保護者や地域住民の力を学校運営に生かす仕組みや、地域住民の参画により子どもたちの学びを支援する体制づくりを進めるとともに、家庭における親子の育ちを支援する家庭教育支援の取組が求められています。

3 施策の概要（計画の抜粋）

- ・学校支援地域本部事業の実施校を順次拡充するため、未実施の学校に対して、学校支援地域本部や学校支援ボランティアの活動状況を周知するなど、実施を働きかけます。
- ・子どもたちに対し、学習や様々な体験・交流活動、スポーツ・文化活動等の機会を提供するため、放課後児童会のみ設置されている小学校区に、小学校4年生～6年生を対象とする放課後子ども教室（モデル教室）を開設するとともに、今後の子ども教室のあり方を検討します。
- ・学校施設の開放については、学校が地域との連携を深める場となるよう、地域の協力を得ながら、学校教育に支障のない範囲で、引き続き、全ての学校で実施するとともに、利用者が少ない音楽室や家庭科室などの特別教室の開放について、地域住民に周知します。
- ・学校評議員については、学校における教育活動や地域との連携の進め方などに関し、保護者や地域住民の意見を聞くとともに、その理解や協力を得るため、引き続き、全ての学校において設置するとともに、各学校で公表している学校評議員からの意見等とその対応状況について、新たに、全学校及び学校評議員に情報提供します。
- ・学校・家庭・地域の様々な人の豊かなつながりにより、家庭の教育力を向上させるため、子育てサポートセンターを拠点として、子育てに関する相談対応、家庭教育に関する講座等の開催、情報発信などを行い、各地域の取組を支援します。

4 基本施策の目標とする指標と取組状況

指標名	基準値 (H24)	目標値 (H27)	実績値			現時点での達成率
			H25	H26	H27	
学校支援ボランティア数	2,821 人	3,046 人	2,542 人	*** 人	*** 人	83.5 %
【指標の説明】市内小中学校で学校支援ボランティア活動をしている保護者・地域住民の人数						

5 平成25年度の取組状況

【社会全体での子どもたちの学びの支援】
平成25年度においては、29校が学校支援地域本部事業を実施し、延べ2万人を超える地域のボランティアの方々の協力のもと、家庭科の調理実習の補助や校外学習の引率などの各種学習活動の補助をはじめ、本の読み聞かせや補修、花壇の整備、登下校の見守り、運動会や文化祭等の学校行事のお手伝いなど、様々な学校支援活動が行われました。
学校支援地域本部事業の趣旨や、実施校の活動事例を紹介するなど周知を図り、更なる実施校の拡充、学校支援活動の活性化、学校支援ボランティアの発掘を図るため、学校支援ボランティア情報紙「てとて」を発行したほか、テレビ広報特集番組「フレ！フレ！我らは学校応援団～学校支援ボランティア～」を放送しました。
学校に対しては、保護者や地域の人々の子どもに託す思いや願いを十分に受け止め、学校、家庭、地域が連携した教育活動の推進に努めるよう、小・中学校長会や学校訪問等で啓発しました。
放課後子ども教室は、対象校拡大のためのモデル事業を継続し、平成25年度は葛町小学校1校を新規開設してモデル校を4校としました。

【地域とともにある学校づくり】
地域住民が気軽に学べる環境づくりと地域に開かれた学校づくりを目指して、小学校46校、中学校20校において、学校教育に支障のない範囲で学校施設を開放し、延べ21万5千人、1万2千回の利用を超える地域住民のスポーツ・レクリエーション及び社会教育活動が行われました。
全ての小・中学校が、学校評議員取扱要項を遵守して運営に当たるよう働きかけました。また、全ての小・中学校を対象に、学校評議員の活用状況調査を行い、実態把握に努めるとともに、必要に応じて学校訪問等で情報提供しました。

【豊かなつながりの中での家庭教育支援】
市民センター等において、小・中学生の保護者や地域住民を対象とする家庭教育に関する講座等を計12回開催し、保護者等がそれぞれの子育てについて振り返り、考える機会を提供しました。
また、子育てサポートセンターを拠点として、各学校における家庭教育学級の開催支援、子育てに関する相談対応、開催した講座の概要や参加者の声、子育てのヒントなどを紹介する家庭教育に関する情報紙「子育てサポートセンター通信」などによる情報発信を行い、各地域や家庭における取組を支援しました。

6 教育委員会の点検及び評価の結果

成果
<p>【社会全体での子どもたちの学びの支援】 学校支援地域本部事業の実施校を拡充した結果、事業実施校における学校支援ボランティア数は順調に増加し、学校・家庭・地域が一体となって子どもを育む体制づくりが推進されました。</p> <p>【地域とともにある学校づくり】 全小・中学校の施設の開放、家庭教育学級の開設を通じて、学校が子どもたちの学習の場としてだけでなく、地域の学びや活動を支える場として活用されました。</p>
課題
<p>【社会全体での子どもたちの学びの支援】 市内小・中学校で学校支援ボランティア活動をしている保護者・地域住民の数は基準値を下回っています。</p>
今後の方向性
<p>【社会全体での子どもたちの学びの支援】 市内全ての地域において、学校支援活動が継続して行われるよう、学校の意向や地域の実情を踏まえながら、学校支援地域本部事業実施校の更なる拡充に取り組みます。 引き続き、学校支援ボランティア活動の取組事例などを紹介する情報紙の発行などにより、学校・地域への普及・浸透を図ります。</p> <p>【地域とともにある学校づくり】 保護者や地域住民が学校に対し理解を深め、学校・家庭・地域が連携しやすい環境をつくるため、引き続き、全ての小・中学校において、学校施設を開放します。</p> <p>【豊かなつながりの中での家庭教育支援】 豊かなつながりの中での家庭教育支援を図るため、引き続き子育てサポートセンターを拠点に、各学校における家庭教育学級の開催支援や子育てに関する相談対応などを行い、各地域や家庭における取組を支援していきます。</p>

(参考) 施策を構成する事務事業

(単位：千円)

事業番号	事務事業名	事業区分	担当課	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
				決算額	決算額	決算額	予算額
5010089	学校支援地域本部事業	拡充	社会教育課	3,179	2,611	3,173	4,173
5010088	青森市放課後子ども教室推進事業	継続	社会教育課	25,534	19,247	16,144	17,705
5010091	青森市放課後子ども教室モデル事業	継続	社会教育課	3,260	4,194	5,086	5,513
5010099	学校施設開放事業	継続	社会教育課	-	-	-	-
5010104	家庭教育支援事業	継続	社会教育課	2,144	2,029	1,833	1,836
5080003	学校評議員関連事務	継続	指導課	-	-	-	-

1 施策名

基本施策10	市民の暮らしや仕事、現代的・社会的課題の解決に向けた学習を支えます。
—	【施策10-1】 市民の現代的・社会的な課題に対応した学習や郷土への愛着を深める学習の充実
—	【施策10-2】 市民の現代的・社会的な課題に対応した学習に取り組む団体及び人材の充実
—	【施策10-3】 市民の現代的・社会的な課題に対応した学習や郷土への愛着を深める図書資料の充実

2 現状と課題（計画の抜粋）

高齢化の進行、人口の減少、女性の社会進出の進展などの社会情勢が変化していく中、市民が、生涯にわたって生き抜く力や地域の課題解決を主体的に担っていく力を身に付けるため、地域づくりの活動拠点・学習拠点である市民センターや公民館など（以下「市民センター等」という。）において、男女共同参画の促進、環境保全、消費者生活、地域防災・安全など、市民の暮らしや仕事、現代的・社会的課題の解決を支援する必要があります。

このことから、市民の暮らしや仕事、現代的・社会的課題に対応した学習を支えるため、学習機会の充実が求められています。

また、市民図書館においては、市民の現代的・社会的な課題の解決や郷土への愛着を深める学習への要望に応えるため、図書資料を充実させる必要があります。

3 施策の概要（計画の抜粋）

・現代的・社会的課題に対応した学習や郷土への愛着を深める学習について、生涯の各段階の市民が、市民センター等において、社会情勢の変化などに対応した学習が受けられるよう、市民に対し提供が必要な課題等を整理するとともに、それに対応した学習機会を提供します。

・市民センター等において、現代的・社会的課題を含めた様々な講座の開催を通じて、多様な分野の学習に取り組む人材を育成します。また、市民に公表している生涯学習情報への登録を促すとともに、登録している団体・サークル及び指導者の情報を「広報あおもり」や「青森市ホームページ」、「生涯学習情報誌」など、様々な媒体を通じて広く市民に周知します。

・市民図書館では、市民が、現代的・社会的な課題の解決や、郷土資料を通じて郷土青森への愛着を深めるために図書資料を活用できるよう、調査研究資料については、その選書方法や市民が活用するための方法を工夫しながら資料を収集し、郷土資料の収集については、きめ細やかな情報収集を行い、受入方法を工夫しながら資料を収集します。

4 基本施策の目標とする指標と取組状況

指標名	基準値 (H24)	目標値 (H27)	実績値			現時点での達成率
			H25	H26	H27	
現代的・社会的課題などをテーマとした講座等への参加者数	6,235 人	6,639 人	7,204 人	*** 人	*** 人	108.0 %
【指標の説明】市民センター・公民館で開催する現代的・社会的課題や郷土に関する講座等に参加した者の数						

5 平成25年度の実績状況

【市民の現代的・社会的な課題に対応した学習や郷土への愛着を深める学習の充実】

【市民の現代的・社会的な課題に対応した学習に取り組む団体及び人材の充実】

市民のライフスタイルや社会情勢の変化などを、様々な情報媒体や受講者アンケートなどから読み取り、学習課題を整理しながら講座の企画立案への反映に取り組みました。特に、「現代的・社会的な課題をテーマにした講座」や「郷土に関する学習講座」については、多岐にわたった地域課題の解決を住民自らが担うための力を身に付ける学習機会としてとらえ、多様な講座を開催し充実を図りました。

具体的には、「寿・女性大学公開講座」の拡大を図り、「青森市の事業」、「青森市の文化・伝統・歴史等」、「実生活」、「まちづくり・地域社会」などのテーマについてたくさんの市民に学習していただきました。また、開催回数を増やしたほか、生涯学習推進員や社会教育主事等を活用することで学習機会の充実を図りました。

【市民の現代的・社会的な課題に対応した学習や郷土への愛着を深める図書資料の充実】

市民図書館では、調査研究資料や郷土資料を購入や寄贈により整備・充実を図りました。

6 教育委員会の点検及び評価の結果

成果
<p>【市民の現代的・社会的な課題に対応した学習や郷土への愛着を深める学習の充実】【市民の現代的・社会的な課題に対応した学習に取り組む団体及び人材の充実】</p> <p>「現代的・社会的な課題をテーマにした講座」について、様々なテーマを設定するとともに、開催数を増やした結果、新規参加者の獲得につながり、参加者が目標を上回りました。</p>
課題
<p>【市民の現代的・社会的な課題に対応した学習や郷土への愛着を深める学習の充実】</p> <p>幅広い年代対応するための学習テーマの研究とニーズをとらえた講座を企画する必要があります。</p> <p>【市民の現代的・社会的な課題に対応した学習に取り組む団体及び人材の充実】</p> <p>「現代的・社会的な課題をテーマにした講座」などを受講する年代が年配者（特に高齢者）に偏っています。</p>
今後の方向性
<p>【市民の現代的・社会的な課題に対応した学習や郷土への愛着を深める学習の充実】</p> <p>市民の現代的・社会的な課題に対応した学習や郷土への愛着を深める学習の充実を図るため、引き続き生涯学習推進員や社会教育主事等を活用しながら、学習テーマを研究し、高齢者のみならず成人、青少年を含む幅広い年代が学習できる「現代的・社会的な課題をテーマにした講座」などを企画・開設していきます。</p> <p>【市民の現代的・社会的な課題に対応した学習に取り組む団体及び人材の充実】</p> <p>講師の人材確保を図ること、また講座等に関する周知方法を見直すことにより「現代的・社会的な課題をテーマにした講座」などへ参加する成人および青少年の拡大に努めます。</p> <p>【市民の現代的・社会的な課題に対応した学習や郷土への愛着を深める図書資料の充実】</p> <p>市民の現代的・社会的な課題に対応した学習や郷土への愛着を深める図書資料の充実を図るため、関係部局と連携しながら、引き続き調査研究資料や郷土資料の収集及び有効活用に取り組んでいきます。</p>

(参考) 施策を構成する事務事業

(単位：千円)

事業番号	事務事業名	事業区分	担当課	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
				決算額	決算額	決算額	予算額
5010100	生涯学習情報提供事業	継続	社会教育課	79	65	65	65
5010101	生涯学習推進員設置事業	継続	社会教育課	3,249	3,249	3,249	3,250
5012009	生涯学習支援事業（中央市民センター）	継続	中央市民センター	3,608	2,369	3,093	4,841
5012022	生涯学習支援事業（油川市民センター）	継続	中央市民センター	-	-	-	1,272
5012010	プラネタリウム運営事業	継続	中央市民センター	1,286	1,813	1,294	2,280
5012014	少年少女発明クラブ支援事業（補助金）	継続	中央市民センター	341	276	248	248
5012016	生涯学習支援事業（地区市民センター）	継続	中央市民センター	5,886	5,818	5,277	4,604
5055003	図書資料整備事業	継続	市民図書館	6,436	36,892	36,596	37,693
5090010	養魚場活動事業	継続	教育課	10	10	14	16
5090012	山の家活動事業	継続	教育課	174	183	180	167
5090016	社会教育団体支援事業（補助金）	継続	教育課	1,433	1,200	1,080	1,080
5090017	浪岡公民館まつり支援事業（補助金）	継続	教育課	540	437	393	393

1 施策名

基本施策11	市民の生涯の各段階を通じた自主的な学習を支えます。
—	【施策11-1】 市民ニーズに合致した学習・サービスの充実
—	【施策11-2】 市民ニーズに合致した学習講座の充実
—	【施策11-3】 市民ニーズに対応した図書館サービスの充実

2 現状と課題（計画の抜粋）

市民の学習状況について、高齢化の進行、人口の減少、女性の社会進出の進展などを背景に、講座の参加者数は減少傾向にあります。市民が生涯にわたって学習し、地域の中で自立した高齢期を送るとともに、これまでの人生での豊かな経験や知識・技能を生かす機会が必要となっています。

このことから、市民センター等において、市民の生涯の各段階を通じた自主的な学習を支えるため、学習機会の充実につながる取組が求められています。

また、市民図書館においては、生涯学習拠点のひとつとして、市民の知的要望に応えるため、図書館サービスの充実のための取組が求められています。

3 施策の概要（計画の抜粋）

- ・生涯学習団体の継続的な学習活動につなげるため、生涯学習団体が学んだことを活かす機会として、引き続き、生涯学習団・サークルに対する発表の場を提供します。
- ・市民の自主的な学習について、市民センター等において、生涯の各段階の市民の多様化したニーズに対応した学習が受けられるよう、学習者のアンケートや社会教育委員の意見などを踏まえ、それに対応した学習機会を提供します。
- ・市民図書館が実施する講座等の参加者を増加させるため、講座をサポートするボランティアの受入、養成、活用を図るとともに、読書に興味を持たせる朗読会等の多様な講座を開催します。
- ・移動図書館の定期巡回における貸出及び新規登録者を維持するため、市民ニーズに合せた巡回先等を見直しするほか、巡回先の情報をホームページ、広報あおもり、訪問地区の集客施設へ周知します。

4 基本施策の目標とする指標

指標名	基準値 (H24)	目標値 (H27)	実績値			現時点での達成率
			H25	H26	H27	
市民センター等の総利用者数	814,587 人	916,173 人	929,259 人	*** 人	*** 人	101.0 %
	【指標の説明】青森地区11 市民センター、浪岡地区6 公民館、細野山の家（増殖実習含む）の総利用者数					
社会教育・生涯学習に対する満足度	22.2 %	41.3 %	21.8 %	*** %	*** %	52.7 %
	【指標の説明】誰もが興味や必要に応じて、図書館や講座などで学ぶ環境が整っていると思う市民の割合					

5 平成25年度の取組状況

【市民ニーズに合致した学習・サービスの充実】
 推進の核となっている中央市民センターでは、施設環境の維持・整備に努めるとともに、学習成果発表の場としての「市民センターまつり」を拡充しました。学習機会の拡大としては、講座参加者の増加や新規参加者の獲得に向けて、平成24年度から開始した「キッズスクール」、「大人の映画会」、夜間・土日の「市民スクール」の充実に努めたほか、新たに企画した「おいでよ！キッズタウン“ワラッシュ”」（職業体験イベント）を開催しました。各地区市民センター等においては、地域の特色を生かした講座を開催するなど、指定管理者が安定した実績を残しました。また、浪岡地区においては、浪岡細野山の家での自主事業を増やすことなどで、学習機会の拡大が図られました。

市民センター全体の取組としては、地域の課題解決を住民自らが担うことができる力を身に付けられるよう、現代的・社会的な課題に対応した学習機会の充実と、寿・女性大学の体験機会として、「寿・女性大学公開講座」の回数を増やしたほか、講座受講者アンケートを参考にしながら、生涯学習推進員や社会教育主事等を活用した講座の企画立案や展開方法の助言などにより、学習機会の充実を図りました。

また、平成24年度から生涯学習センター機能を併せ持つ施設「青森市浪岡中央公民館」の整備を進めており、計画どおり工事に着手しました。

【市民ニーズに合致した学習講座の充実】
 学習機会情報、団体・サークル情報、指導者情報等の市民の生涯学習活動に結びつく情報のホームページや情報誌等による情報提供、生涯学習に興味・関心のある市民に対する生涯学習推進員による相談対応など、市民の自主的な学習活動を支援する環境づくりに取り組みました。

さらには、市民センター・公民館を中心とした社会教育・生涯学習活動の充実について、社会教育委員会議に諮問しました。

【市民ニーズに対応した図書館サービスの充実】
 市民や子ども達の読書活動が推進されるよう、読書団体と連携し、21箇所の市民センターや小学校ではおはなし会を開催したほか、6か所で移動図書館による紙芝居を実施しました。

6 教育委員会の点検及び評価の結果

成果
<p>【市民ニーズに合致した学習・サービスの充実】【市民ニーズに合致した学習講座の充実】 これまで好評を得ている講座の充実や、新たな講座の開設など学習機会の拡充に加え、耐震補強工事等が終了した中央市民センターの通年利用が可能となった結果、平成25年度の利用者数は目標値を上回りました。</p>
課題
<p>【市民ニーズに合致した学習・サービスの充実】【市民ニーズに合致した学習講座の充実】 社会教育・生涯学習に対する満足度が低いまです。 【市民ニーズに対応した図書館サービスの充実】 市民図書館の利用者数が減少しています。</p>
今後の方向性
<p>【市民ニーズに合致した学習・サービスの充実】 市民ニーズをより正確に把握するため、講座受講者アンケートなどを参考に、男女別や年代別等の細かな分析を行いながら、それぞれのニーズに合った講座の企画立案等に取り組みます。また、継続的に施設環境の維持・整備に努め、社会教育委員会からの答申内容を生涯学習・社会教育関係の事業展開に生かしていくことにより更なるサービスの充実を図ります。 【市民ニーズに合致した学習講座の充実】 市民ニーズに合致した学習講座の充実を図るため、引き続き学習機会等の様々な情報について、ホームページや情報誌等により提供するとともに、新たな周知方法についても探っていきます。また、生涯学習推進員による相談対応などにより、市民の自主的な学習活動を支援する環境づくりに取り組みます。 【市民ニーズに対応した図書館サービスの充実】 利用者の増加を図るため、有効活用される図書資料の収集や幅広い年代に向けた朗読会など、読書活動を推進する事業の実施などに取り組むとともに、市民ニーズに合わせた移動図書館の巡回先等の見直しに取り組みます。</p>

(参考) 施策を構成する事務事業

(単位：千円)

事業番号	事務事業名	事業区分	担当課	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
				決算額	決算額	決算額	予算額
5010100	生涯学習情報提供事業	継続	社会教育課	79	65	65	65
5010101	生涯学習推進員設置事業	継続	社会教育課	3,249	3,249	3,249	3,250
5010105	社会教育委員設置運営事務	継続	社会教育課	-	157	398	766
5012009	生涯学習支援事業(中央市民センター)	継続	中央市民センター	3,608	2,369	3,093	4,841
5012022	生涯学習支援事業(油川市民センター)	継続	中央市民センター	-	-	-	1,272
5012010	プラネタリウム運営事業	継続	中央市民センター	1,286	1,813	1,294	2,280
5012014	少年少女発明クラブ支援事業(補助金)	継続	中央市民センター	341	276	248	248
5012016	生涯学習支援事業(地区市民センター)	継続	中央市民センター	5,886	5,818	5,277	4,604
5012008	分館運営管理事業	継続	中央市民センター	4,453	17,154	4,132	4,859
5012017	公民館分館併設集会所建設事業(補助金)	継続	中央市民センター	6,572	14,000	2,655	6,313
5012007	市民センター管理運営事業(中央市民センター)	継続	中央市民センター	45,939	69,745	56,325	41,451
5012015	市民センター管理運営事業(地区市民センター)	継続	中央市民センター	240,668	241,396	252,424	232,392
5012021	中央市民センター施設整備事業	継続	中央市民センター	-	-	3,854	-
5090028	浪岡中央公民館整備事業	継続	教育課	-	37,807	302,146	748,000
5090010	養魚場活動事業	継続	教育課	10	10	14	16
5090012	山の家活動事業	継続	教育課	174	183	180	167
5090016	社会教育団体支援事業(補助金)	継続	教育課	1,433	1,200	1,080	1,080
5090017	浪岡公民館まつり支援事業(補助金)	継続	教育課	540	437	393	393
5090011	山の家運営管理事業	継続	教育課	16,140	8,792	8,194	6,892
5090009	養魚施設運営管理費(浪岡)	継続	教育課	1,179	1,199	1,194	1,104
5090013	公民館運営管理事業(施設管理運営事務)(浪岡)	継続	教育課	50,540	48,332	44,571	52,969

1 施策名

基本施策12	青少年の健全な成長を支えます。
—	【施策12-1】 青少年に対する様々な体験活動の充実
—	【施策12-2】 子どもを有害情報や非行から守る取組の充実（2-2再掲）
—	【施策12-3】 青少年の自立と社会参加に向けた支援の充実
—	【施策12-4】 青少年に対する交流環境づくりの推進
—	【施策12-5】 社会全体での子どもたちの学びの支援（9-1再掲）
—	【施策12-6】 地域とともにある学校づくり（9-2再掲）
—	【施策12-7】 豊かなつながりの中での家庭教育支援（9-3再掲）

2 現状と課題（計画の抜粋）

グローバル化や情報化の進展などにより予想を超えたスピードで社会は変化していることから、子どもや若者がこの変化する社会を生き抜くためには、幅広い知識・教養と柔軟な思考力に基づいて新しい価値を創造したり、他者と協働したりする能力等が求められています。
このことから、青少年の健やかな育成を支援するため、関係団体と連携を図りながら有害情報や非行から守る取組を充実させるとともに、様々な体験的活動などを充実させる必要があります。

3 施策の概要（計画の抜粋）

・国際的な交流機会を充実させるため、韓国（平澤市）・アメリカ（メイン州）・中国（大連市）との子どもの相互交流を実施するとともに、子どもの版画などの作品交流を実施します。
・授業内容と関連を図った科学に関する体験機会を充実させるため、小・中学校の教員で構成する教育研究会理科部会などの協力を得ながら、小・中学生を対象とする科学体験講座等を引き続き開催します。
・様々な体験活動を実施している青森市子ども会育成連絡協議会の活動を支援します。
・子どもが文化・芸術に興味を持つ機会を充実させるため、子どもたちの文化活動への助成や、アウトリーチの実施、ワークショップの開催など、子どもたちの文化・芸術活動を支援します。
・また、小・中・高を通じ、版画に興味を持つ機会を充実させるため、小・中学生をメインにした棟方志功賞版画展の開催や、関係機関との連携による中学生、高校生を対象としたワークショップ等を開催します。
・社会参加のひとつの機会として、新成人等が参画した実行委員会による運営により、新成人としての自覚と誇りの喚起や、市民としての意識の醸成につながる企画を取り入れた成人式を開催します。

4 基本施策の目標とする指標と取組状況

指標名	基準値 (H24)	目標値 (H27)	実績値			現時点での達成率
			H25	H26	H27	
青少年の健全育成に対する満足度	7.7 %	10.9 %	8.1 %	*** %	*** %	74.3 %
	【指標の説明】青少年が犯罪や非行に走ることなく、健全に育っていると思う市民の割合					
青少年の自立と社会参加につながる講座等に参加した実人員	49 人	77 人	47 人	*** 人	*** 人	61.0 %
	【指標の説明】自立と社会参加につながる講座に参加した20・30代の実人員					

5 平成25年度の取組状況

【青少年に対する様々な体験活動の充実】
平成25年度においては、韓国（平澤市）との中学生の相互訪問交流や、米国メイン州への中学生の訪問交流を実施したほか、平成26年度から実施する中国大連市との児童生徒の相互交流のために交流指定校の教員を派遣しました。
子どもたちが、自由な発想で楽しみながら創作活動（ものづくり）に取り組み、感動的で不思議な科学を体験することにより、創造性豊かで柔軟な思考力を育むため、小学2年生から中学2年生までを対象に「ものづくり・サイエンス教室」を3回開催し、万華鏡の工作や、くだもの電池の実験などを実施しました。
青少年の体験活動の充実を図るため、青森市子ども会育成連絡協議会へ補助金を交付し、子ども会リーダー及び成人指導者の育成やスポーツ・レクリエーション活動などの取組を支援しました。
子どもたちが文化・芸術に興味を持つ機会を充実させるため、学校へ出向き、プロの演奏家と触れ合う機会を提供する「おでかけクラシック」の開催や小・中・高を通じ、版画に興味を持つ機会を充実させるため、「棟方志功賞版画展」の開催、関係機関と連携し、「中学生木版画講座」、高校生を対象とした版画ワークショップを実施しました。
【青少年の自立と社会参加に向けた支援の充実】
新成人の自立と社会参加につながる成人式については、新成人等の参画による実行委員会を組織するとともに、新成人等自らの企画・運営による式典を開催し、約2,000人が参加しました。
【子どもを有害情報や非行から守る取組の充実（2-2再掲）】
基本方向1基本施策2（子どもたちの豊かな心を育みます。）に掲載
【社会全体での子どもたちの学びの支援（9-1再掲）】【地域とともにある学校づくり（9-2再掲）】【豊かなつながりの中での家庭教育支援（9-3再掲）】
基本方向1基本施策9（学校・家庭・地域の連携により教育力を高めます。）に掲載

6 教育委員会の点検及び評価の結果

成果
<p>【青少年に対する様々な体験活動の充実】 隔年で実施していた韓国（平澤市）との中学生の相互訪問交流を、平成25年度から毎年実施することにより、国際的な交流機会の充実を図ったほか、ものづくりや文化・芸術に触れる機会など、青少年に対する様々な体験活動の充実に取り組んできた結果、青少年の健全育成に対する満足度は、昨年度を上回りました。</p>
課題
<p>【青少年の自立と社会参加に向けた支援の充実】 青少年が参加できる講座を開設していますが、青少年の自立と社会参加につながる講座等に参加した実人員が昨年度を下回っており、20代や30代の参加者が少ない状況にあります。</p>
今後の方向性
<p>【青少年に対する様々な体験活動の充実】 青少年に対する様々な体験活動の充実を図るため、引き続き子どもの国際的な相互交流やものづくり教室等を実施するとともに、文化・芸術活動や各種団体の支援に取り組みます。</p> <p>【青少年の自立と社会参加に向けた支援の充実】 地域活動や社会活動に関する情報提供を行い、青少年の主体的な活動を支援します。 また、主体的な活動を推進するリーダーの育成など青少年の教養と資質を高め、社会参加を促すような青少年が興味を持つ魅力ある学習プログラムの充実に取り組めます。</p> <p>【青少年に対する交流環境づくりの推進】 地域等で主体的に活動できる人材（若者）を育成するため、青少年の出会い・集い・学びの交流環境づくりを推進します。</p>

(参考) 施策を構成する事務事業

(単位：千円)

事業番号	事務事業名	事業区分	担当課	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
				決算額	決算額	決算額	予算額
5010029	少年海外生活体験事業	継続	社会教育課	-	2,657	1,951	2,568
5010012	少年ものづくり・科学体験事業	継続	社会教育課	438	372	395	434
5010027	青森市子ども会育成振興事業（補助金）	継続	社会教育課	728	728	728	728
5010082	成人式開催事業	継続	社会教育課	1,333	1,307	1,211	1,316
5010106	新成人・はたちの記念事業	継続	社会教育課	-	-	273	315
5011023	青森市文化スポーツ振興公社助成事業（補助金）（文化事業）	継続	文化スポーツ振興課	-	-	63,454	62,177
5012009	生涯学習支援事業（中央市民センター）	継続	中央市民センター	3,608	2,369	3,093	4,841
5080012	友好交流推進事業	拡充	指導課	14	12	923	3,751
5090003	浪岡中学校生徒海外派遣・受入事業	継続	教育課	4,632	4,161	4,097	4,888

1 施策名

基本施策13	市民の文化・芸術活動を支えます。
—	【施策13-1】 文化・芸術鑑賞機会の充実
—	【施策13-2】 文化・芸術活動の活性化に向けた支援
—	【施策13-3】 伝統芸能の鑑賞機会と発表機会の充実

2 現状と課題（計画の抜粋）

市民の文化・芸術活動について、文化施設の利用者が増加していることから、文化・芸術活動が活性化しているものと推察されますが、今後、高齢化の進行、人口の減少などを背景に、文化団体の会員数の減少により活動が低下する恐れがあります。

このことから、市民の文化・芸術活動を支えるため、鑑賞機会の充実や市民の活動に対する支援など、文化・芸術活動の充実につながる取組が求められています。

3 施策の概要（計画の抜粋）

- ・本市の芸術を代表とする版画作品や、本市出身の芸術家による作品の鑑賞機会を充実させるため、作品展等を開催します。また、市所蔵作品については、公共施設や企業のロビー等を活用し展示します。
- ・音楽、演劇、歌舞伎等の伝統芸能などの舞台芸術について、広く市民に鑑賞していただくため、一般財団法人青森市文化スポーツ振興公社と連携し、魅力ある舞台芸術の鑑賞機会を提供します。
- ・文化・芸術活動を実施している市民や団体の活動を更に活性化させるため、文化施設において、文化団体協議会等と連携し、市民文化祭の開催など、市民や団体が集い、気軽に練習や発表、交流ができる文化・芸術活動の拠点づくりを進めます。
- ・アートで音楽のあるまちづくり推進のため、個人や団体等の文化・芸術活動に対して、アートで音楽のあるまちづくりの中心的組織である「アートでオン！」と連携し、個人や団体等に対し、事業実施に向けたアドバイスや情報提供などの支援をします。
- ・文化・芸術団体の活動を活性化させるため、文化・芸術団体が主催する各種事業について、ホームページや施設等において、周知します。
- ・本県の伝統芸能であり、全国的に知名度の高い津軽三味線について、鑑賞機会を充実させるため、「津軽三味線日本一決定戦」の開催を引き続き支援します。
- ・三味線・民謡、ねぶた囃子、跳人など、本市の伝統芸能について、市民に広く鑑賞していただき、団体等の活動の活性化を図るため、街中でのストリートライブや、イベントホールでの発表会を開催するなど、活動の場を提供します。

4 基本施策の目標とする指標と取組状況

指標名	基準値 (H24)	目標値 (H27)	実績値			現時点での達成率
			H25	H26	H27	
文化施設利用者数	624,406 人	745,798 人	588,327 人	*** 人	*** 人	78.9 %
【指標の説明】市所有の文化施設の年間利用者数						
文化・芸術に対する満足度	20.9 %	25.2 %	19.6 %	*** %	*** %	77.8 %
【指標の説明】音楽、美術などのさまざまな芸術や文化と身近に触れ合うことができると思う市民の割合						
文化芸術鑑賞型事業観客者数	55,788 人	61,941 人	51,854 人	*** 人	*** 人	83.7 %
【指標の説明】市主催の鑑賞型文化事業の観客者数						
伝統芸能鑑賞事業観客者数	2,150 人	4,688 人	4,096 人	*** 人	*** 人	87.4 %
【指標の説明】津軽三味線・津軽民謡、ねぶた囃子など伝統芸能の発表の場の提供を目的とした事業の観客数						

5 平成25年度の取組状況

【文化・芸術鑑賞機会の充実】
市所蔵作品展の開催や市所蔵作品を公共施設、学校、ホテルのロビー等を活用し展示するとともに、一般財団法人青森市文化スポーツ振興公社と連携し、クラシックコンサート、演劇、歌舞伎などの舞台芸術の鑑賞機会を提供しました。文化施設において、青森市文化団体協議会と連携し、市民文化祭を開催するなど、文化・芸術活動の拠点づくりに努めました。

【文化・芸術活動の活性化に向けた支援】
アートで音楽のあるまちづくり推進のため、アートで音楽のあるまちづくりの中心的組織「アートでオン！」とともに、文化・芸術活動の活性化を図るための支援体制づくりの調査・検討や文化・芸術団体が主催する各種事業の後援や周知等の支援を実施しました。

【伝統芸能の鑑賞機会と発表機会の充実】
「津軽三味線日本一決定戦」の開催を引き続き支援するとともに、三味線・民謡、ねぶた囃子など、街中でのストリートライブや、イベントホールでの発表会を開催しました。

6 教育委員会の点検及び評価の結果

成果
<p>【文化・芸術活動の活性化に向けた支援】 アートで音楽のあるまちづくりの中心的組織「アートでオン！」が組織され、文化・芸術活動の活性化を図るための支援体制が整備されました。</p> <p>【伝統芸能の鑑賞機会と発表機会の充実】 三味線などの郷土の伝統芸能について発表機会の提供を行った結果、伝統芸能鑑賞事業観客数が昨年度に比べ約倍増しました。</p>
課題
<p>【文化・芸術鑑賞機会の充実】【文化・芸術活動の活性化に向けた支援】 市所蔵作品展、クラシック、伝統芸能等公演の開催など文化・芸術を鑑賞できる機会の充実に努めるとともに、催事ごとのアンケート実施や意見箱を設置し市民ニーズの把握に努め、文化施設の空き状況を情報提供するなど取り組みましたが、民間事業者による大規模催事の減少等により、文化施設利用者及び文化芸術鑑賞型事業観客数は、前年度を下回りました。 より多くの方々への文化・芸術活動の周知方法や文化・芸術活動の活性化を促進するため、人材確保に向けた市民参加型の事業を検討する必要があります。</p>
今後の方向性
<p>【文化・芸術鑑賞機会の充実】【文化・芸術活動の活性化に向けた支援】 文化・芸術鑑賞機会の充実を図るため、アンケート結果を事業等に反映させるほか、発表機会の提供に努めます。 また、アートで音楽のあるまちづくりの推進に向け、「アートでオン！」と連携し、個人・団体等に対し、事業実施に向けたアドバイスや情報提供を行うほか、市民参加型事業の検討や広報あおりなど様々な媒体を積極的に活用した文化・芸術活動周知活動に取り組みます。</p> <p>【伝統芸能の鑑賞機会と発表機会の充実】 伝統芸能の鑑賞機会と発表機会の充実を図るため、引き続き三味線などの伝統芸能等の文化資産については、発表機会や情報の提供を行うなど保存と地域活性化の両面を考慮した支援を行います。</p>

(参考) 施策を構成する事務事業

(単位：千円)

事業番号	事務事業名	事業区分	担当課	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
				決算額	決算額	決算額	予算額
5011001	市所蔵美術品活用事業	継続	文化スポーツ振興課	-	-	-	-
5011002	市所蔵美術品保存事業	継続	文化スポーツ振興課	549	572	650	773
5011005	文化事業後援事業	継続	文化スポーツ振興課	66	-	-	-
5011007	文化振興施設運営管理事業(文化振興事業)	継続	文化スポーツ振興課	21,457	23,137	8,744	7,563
5011008	文化振興施設運営管理事業(文化施設管理)	継続	文化スポーツ振興課	366,464	420,509	318,021	338,028
5011009	文化施設駐車場運営管理業務(文化会館)	継続	文化スポーツ振興課	8,712	14,715	8,734	8,770
5011009	文化施設駐車場運営管理業務(市民ホール)	継続	文化スポーツ振興課	261	550	583	302
5011023	青森市文化スポーツ振興公社助成事業(補助金)(文化事業)	継続	文化スポーツ振興課	-	-	63,454	62,177
5011024	文化芸術創造・発信事業	継続	文化スポーツ振興課	-	-	2,994	3,500
5011025	AOMORI PRINTトリエンナーレ2014開催事業(負担金)	継続	文化スポーツ振興課	-	-	1,537	4,604
5011027	青森市民文化祭開催事業(負担金)	継続	文化スポーツ振興課	-	-	1,024	1,024
5013033	歴史的文化資源保存・活用事業	継続	文化財課	100	80	1,868	2,100
5090004	小学生芸術鑑賞教室事業	継続	教育課	1,263	1,001	1,106	1,103
5090008	浪岡舞台演劇公演支援事業(補助金)	継続	教育課	270	243	197	197
5090005	中世の館運営管理事業(施設管理運営事業)	継続	教育課	28,231	34,098	30,348	28,202
5090006	中世の館運営管理事業(文化振興事業)	継続	教育課	726	727	867	885

1 施策名

基本施策14	文化財を守り、伝えます。
—	【施策14-1】 民俗芸能の継承
—	【施策14-2】 歴史民俗資料・遺跡出土品の継承
—	【施策14-3】 埋蔵文化財の継承
—	【施策14-4】 史跡の価値の向上

2 現状と課題（計画の抜粋）

縄文遺跡などの史跡や出土品、歴史民俗資料などの本市の貴重な文化財は、郷土の歴史、伝統、文化等を理解するために欠くことができないものであると同時に、将来の文化の向上発展の基礎をなすものです。
本市においては、小牧野遺跡をはじめとする貴重な文化財が多数あることから、文化財を守り伝えるため、文化財を大切に保存して次代へ継承するとともに、その価値を国内はもとより世界に向けて積極的に発信していく必要があります。

3 施策の概要（計画の抜粋）

- ・本市固有の民俗芸能団体（獅子踊、登山囃子、ねぶた囃子）に対し、活動機会の提供などの支援を継続して行います。また、後継者を育成するため民俗芸能団体の活動状況に関する継続的な調査の実施により各団体の運営上の課題に対してアドバイスを行います。
- ・歴史民俗資料・遺跡出土品について、適切に保存管理するとともに、広く市民の目に触れていただくため、展示会を開催します。また、身近な学校や公共施設などにおける出前展示の活用を促進します。
- ・本市が管理している小牧野遺跡、浪岡城跡、高屋敷遺跡について、史跡の保護を行うため、私有地の公有化と、活用に向けた整備を引き続き実施します。
- ・小牧野遺跡については、他の自治体との連携を図りながら、世界遺産登録を目指します。

4 基本施策の目標とする指標と取組状況

指標名	基準値 (H24)	目標値 (H27)	実績値			現時点での達成率
			H25	H26	H27	
歴史・文化、祭りなどについて誇りに感じている市民の割合	78.5 %	80.8 %	77.5 %	*** %	*** %	95.9 %
【指標の説明】歴史・文化、祭りなどについて誇りに感じている市民の割合						
文化財を活用した事業の参加者数	46,257 人	41,716 人	24,595 人	*** 人	*** 人	59.0 %
【指標の説明】文化財を活用した事業の参加者数						
文化財の保存・活用に対する満足度	24.0 %	48.0 %	23.7 %	*** %	*** %	49.4 %
【指標の説明】埋蔵文化財、歴史民俗資料などのさまざまな文化財が適切に保存され、活用されていると感じている市民の割合						

5 平成25年度の取組状況

【民俗芸能の継承】
市PTA連合会が運行する「ねぶた」に対する制作費等の支援及び参加への働きかけを行うとともに、獅子踊の団体に対して発表機会の提供を行いました。

【歴史民俗資料・遺跡出土品の継承】
指定文化財等を定期的に巡視し、郷土の文化財の適切な保護・保存に努めたほか、市所有の歴史民俗資料等については、収蔵施設で適切に保存・管理するとともに、資料等を活用した企画展の開催や資料等の貸出しを行いました。
また、本市に点在する歴史文化資源を有機的に結びつけながら、歴史に関する学習機会のより一層の充実と、歴史をテーマとした誘客促進を図り、歴史文化資源を総合的に保存・活用することを目的とした、青森市歴史文化基本構想～「まほろば歴史の道」ネットワーク～を策定しました。

【埋蔵文化財の継承】
工事関係機関に対し、遺跡の有無や着工までの対応方法について周知しました。

【史跡の価値の向上】
小牧野遺跡における市民参加による史跡整備等の実施、小牧野遺跡の出土品の市文化財指定、国史跡の公有化（小牧野遺跡・浪岡城跡）及び整備（小牧野遺跡・浪岡城跡・高屋敷館遺跡）を行いました。
また、小牧野遺跡の世界遺産登録に向け、青森県など関係自治体と連携を図りながら各種作業を進めました。

6 教育委員会の点検及び評価の結果

成果	
【歴史民俗資料・遺跡出土品の継承】	歴史民俗資料等を小学校8校へ、延べ160点貸出し、438人の児童の目に触れるなど、前年の実績を上回りました。また、本市に点在する歴史文化資源を有機的に結びつけながら、歴史に関する学習機会のより一層の充実と、歴史をテーマとした誘客促進を図り、歴史文化資源を総合的に保存・活用することを目的とした、青森市歴史文化基本構想～「まほろば歴史の道」ネットワーク～を策定するなど、歴史民俗資料・遺跡出土品の継承に向けた環境整備が図られました。
【埋蔵文化財の継承】	工事関係機関に対し、遺跡の有無や着工までの対応方法について周知することにより、遺跡の有無の照会が前年度を10件上回る584件提出されるなど、埋蔵文化財の保護が図られました。
【史跡の価値の向上】	小牧野遺跡における市民参加による史跡整備等の実施や、国史跡の公有化（小牧野遺跡・浪岡城跡）及び整備（小牧野遺跡・浪岡城跡・高屋敷館遺跡）を進めたことにより、史跡の保護に向けた環境推進が図られました。
課題	
【民俗芸能の継承】【歴史民俗資料・遺跡出土品の継承】	歴史・文化、祭りなどについて誇りに感じている市民の割合、文化財を活用した事業の参加者数及び文化財の保存・活用に対する満足度の全ての指標について、前年度を下回りました。
【史跡の価値の向上】	小牧野遺跡をはじめとする史跡を保護するため、引き続き私有地の公有化を進めるとともに、公有化した土地の保護対策も併せて進めていく必要があります。
今後の方向性	
【民俗芸能の継承】	引き続き、市PTA連合会が運行する「ねぶた」に対し制作費等を支援するほか、構成員の高齢化や後継者不足が課題となっている、獅子踊、登山囃子、ねぶた囃子を伝承している本市固有の民俗芸能団体の活動についても、発表の場の提供等を通じて支援していきます。
【歴史民俗資料・遺跡出土品の継承】	歴史・文化、祭りなどについて誇りに感じている市民の割合、文化財を活用した事業の参加者数及び文化財の保存・活用に対する満足度を向上させるため、歴史民俗資料等の有効活用、適切な保存・管理を図るとともに、目に触れる機会の提供を通じて市民の文化財保護の意識を醸成するため、効果的な周知方法等を検討しながら、引き続き、企画展の開催や資料等の貸出しを行います。また、整備を進めている「(仮称)あもり 北のまほろば歴史館」を開館させ、その有効活用を図っていきます。
【埋蔵文化財の継承】	工事等に際しては、遺跡の有無の照会や工事等の内容の確認が必要なことなどについて、関係機関に引き続き周知していきます。
【史跡の価値の向上】	小牧野遺跡をはじめとする史跡の保護・整備を引き続き実施するとともに、特に小牧野遺跡については、地域住民やボランティアと連携した環境整備を継続的に進めるとともに、整備を進めている「(仮称)小牧野遺跡観察施設」や「(仮称)小牧野遺跡保護センター」を開館させ、その有効活用を図っていきます。さらに、関係自治体との連携を図りながら、世界遺産登録に向けた各種作業を進めます。 また、平成26年度に青森市で開催する「縄文シティサミット」を通じて、縄文文化の魅力や歴史的意義について市民の理解と保護意識の醸成を図ります。

(参考) 施策を構成する事務事業

(単位：千円)

事業番号	事務事業名	事業区分	担当課	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
				決算額	決算額	決算額	予算額
5010011	青森市PTA連合会ねぶた運行補助事業	継続	社会教育課	4,442	4,442	4,442	4,442
5013001	縄文都市交流事業	継続	文化財課	332	648	191	20
5013003	文化財保護事務	継続	文化財課	38	127	1,041	78
5013004	市内遺跡発掘調査事業	継続	文化財課	3,402	2,520	2,007	1,773
5013007	埋蔵文化財整理事業場管理事務	継続	文化財課	1,955	1,863	2,481	1,871
5013009	小牧野遺跡整備事業	継続	文化財課	18,703	20,111	45,807	101,960
5013010	埋蔵文化財保護事務	継続	文化財課	193	164	149	203
5013012	史跡見学者対策事業	継続	文化財課	1,444	1,454	1,465	1,695
5013013	高屋敷館遺跡環境整備事業	継続	文化財課	7,365	4,406	5,981	6,670
5013018	森林博物館企画運営事業	継続	文化財課	1,583	1,429	1,428	1,470
5013020	森林博物館運営管理事業	継続	文化財課	15,725	17,586	16,062	16,107
5013023	浪岡城跡新館公有化事業	継続	文化財課	52,099	42,678	89,394	60,648
5013031	世界遺産登録推進事業	継続	文化財課	2,187	2,375	2,459	2,428
5013032	浪岡城跡保存修理事業	継続	文化財課	3,708	2,514	4,981	5,460
5013033	歴史的文化資源保存・活用事業	継続	文化財課	100	80	1,868	2,100
5013034	文化財資料保管施設運営管理事務	継続	文化財課	1,498	4,362	4,419	5,224
5013038	小牧野遺跡資料展示施設整備事業(旧野沢小学校)	継続	文化財課	-	-	-	273,582
5013039	埋蔵文化財整理事業場整備事業	新規	文化財課	-	-	-	26,721
5013040	(仮称)あもり北のまほろば歴史館整備事業	新規	文化財課	-	-	-	77,591
5013041	埋蔵文化財関係施設管理事業	新規	文化財課	-	-	-	1,116
5013042	縄文シティサミット開催事務	新規	文化財課	-	-	-	1,388
5013043	川原館遺跡外発掘調査事業	継続	文化財課	-	-	-	-

1 施策名

基本方向1	スポーツ・レクリエーション活動の推進
—【主な取組1】	スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の提供
—【主な取組2】	総合型地域スポーツクラブ等の情報提供
—【主な取組3】	子どものスポーツ・レクリエーション活動の促進
—【主な取組4】	高齢者のスポーツ・レクリエーション活動の促進
—【主な取組5】	障害者のスポーツ・レクリエーション活動の促進
—【主な取組6】	指導者の確保・活用
—【主な取組7】	地域スポーツの促進
—【主な取組8】	既存スポーツ施設の利便性の向上
—【主な取組9】	ハイレベルな競技の観戦機会の提供

2 現状と課題（計画の抜粋）

<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズを反映した各種教室やイベントの開催や各種団体が実施するスポーツ大会やイベントなどの開催促進、誰でも気軽に取り組める運動の普及啓発やハイキングなどの野外活動の普及奨励に取り組んでいく必要があります。 ・総合型地域スポーツクラブをはじめ様々な活動機会を提供するスポーツ・レクリエーション団体に参加しやすい環境づくりを進めていく必要があります。 ・子どもや高齢者、障害者がスポーツ・レクリエーション活動へ参加できる機会を拡充するとともに地域の方々が主体的にスポーツに参画する環境づくりに取り組む必要があります。 ・指導者の確保、資質向上及びスポーツ推進委員の認知度の向上を図る必要があります。 ・スポーツ施設の適正な保守管理と施設の空き状況やイベント情報など一層の情報提供に取り組む必要があります。 ・高い競技水準の大会開催誘致に取り組み、観戦できる機会の充実を図ります。
--

3 施策の概要（計画の抜粋）

<p>ライフステージに応じて市民の皆さん誰もがスポーツ・レクリエーション活動に取り組める環境づくりを多角的に進めるとともに、地域の身近な学校体育施設や市民センターの体育館等を含めたスポーツ・レクリエーション活動が可能な施設全般に関する積極的な情報提供により、スポーツ・レクリエーション活動に取り組める場の利便性の向上に努めます。</p>
--

4 基本施策の目標とする指標と取組状況

指標名	基準値 (H23)	目標値 (H27)	実績値				現時点での達成率
			H24	H25	H26	H27	
成人の週1回以上のスポーツ実施率	32.4 %	35.5 %	35.9 %	34.8 %	*** %	*** %	98.0 %
	【指標の説明】週1回以上運動・スポーツを行っている市民（成人）の割合（市民意識調査）						
スポーツ・レクリエーションに対する満足度	17.8 %	26.9 %	15.3 %	14.8 %	*** %	*** %	55.0 %
	【指標の説明】スポーツ・レクリエーションを楽しむための機会や施設の充実に関する満足度（市民意識調査）						
スポーツ施設利用者数	992,976 人	1,044,623 人	1,077,242 人	920,963 人	*** 人	*** 人	88.2 %
	【指標の説明】本市所有のスポーツ施設の年間利用者数						
障害者のスポーツ施設利用者数	5,808 人	6,888 人	5,758 人	6,732 人	*** 人	*** 人	97.7 %
	【指標の説明】文化スポーツ振興課所管施設及びモヤヒルズにおける1年間の障害者利用者数						
スポーツ推進委員の一人当たり年間平均活動回数	61.0 回	66.0 回	59.7 回	62.1 回	*** 回	*** 回	94.1 %
	【指標の説明】スポーツ推進委員の一人当たり年間平均活動回数						

5 平成25年度の取組状況

【スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の提供】【子どものスポーツ・レクリエーション活動の促進】【高齢者のスポーツ・レクリエーション活動の促進】【障害者のスポーツ・レクリエーション活動の促進】【地域スポーツの促進】

平成25年度は、指定管理者の自主事業として、「オリンピックメダリストによるミズノビクトリークリニック水泳教室」、「青森ワッツによるバスケットボール教室」などの各種教室を実施し、競技水準の高い、スポーツ・レクリエーション活動への参加機会を提供しました。

また、「小学生陸上教室」を開催し、参加者が全国小学生交流大会青森県選手選考会で好成績を収める等、小学生の陸上技術向上を図ったほか、「健康づくり元旦ジョギング」や「ベタンク講習会・交流会」を開催し、子供から高齢者までの参加により、地域におけるスポーツを通じた世代間交流や健康増進に貢献しました。

浪岡地区においては、中世の里マスターズ駅伝、浪岡地区体育大会、浪岡地区スポーツフェスティバルの開催に対する支援を継続し、スポーツを通じた市民の交流や健康増進を図りました。

【総合型地域スポーツクラブ等の情報提供】【指導者の確保・活用】【既存スポーツ施設の利便性の向上】【ハイレベルな競技の観戦機会の提供】

AOMORI マラソン大会の開催や青森県民駅伝の開催に対する支援を継続して行うとともに、一般財団法人青森市文化スポーツ振興公社と連携し、卓球大会の開催、スポーツ少年団本部活動の実施に加え、新たにプロバスケットボールチーム「青森ワッツ」、スポーツクラブ、スポーツ行事などの情報を掲載したスポーツ・レクリエーション情報誌を発刊しました。

6 教育委員会の点検及び評価の結果

成果

【スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の提供】【子どものスポーツ・レクリエーション活動の促進】【高齢者のスポーツ・レクリエーション活動の促進】【障害者のスポーツ・レクリエーション活動の促進】

スポーツ施設において、スポーツ・レクリエーション活動の振興を目的としたスポーツ教室やイベント、各種大会を開催し、スポーツ・レクリエーション活動に参加できる機会の充実を図ったことなどから、成人の週1回以上のスポーツ実施率が基準値を上回ったほか、障害者のスポーツ施設利用者数が前年度を上回りました。

【指導者の確保・活用】

スポーツ推進委員に対する各種研修会への参加促進により、スポーツ推進委員としての資質向上が図られ、活動回数も増加しました。

課題

【スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の提供】【子どものスポーツ・レクリエーション活動の促進】【高齢者のスポーツ・レクリエーション活動の促進】

施設の老朽化などからスポーツ施設利用者数が前年度より下回りました。

今後の方向性

【スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の提供】【総合型地域スポーツクラブ等の情報提供】【子どものスポーツ・レクリエーション活動の促進】【高齢者のスポーツ・レクリエーション活動の促進】【障害者のスポーツ・レクリエーション活動の促進】【地域スポーツの促進】【ハイレベルな競技の観戦機会の提供】

スポーツ施設利用者数を増加させるため、指定管理者と連携し、効率的・効果的な事業展開を図るための事業の見直しなどスポーツ・レクリエーション活動への参加機会の拡大や、各種スポーツ・レクリエーション情報及び施設の空き状況などわかりやすい情報提供に取り組みます。

【既存スポーツ施設の利便性の向上】

引き続き、スポーツ施設の維持修繕等を適切に実施することで、施設の環境維持と充実を図り、安全確保に努めます。

【指導者の確保・活用】

スポーツ推進委員の指導者としての資質向上を図るため、引き続き各種研修会への参加を呼びかけるとともに、市民のスポーツ推進委員の派遣システムの積極的な活用を促進していきます。

(参考) 施策を構成する事務事業

(単位:千円)

事務事業		事業区分	担当課	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
事業番号	事務事業名			決算額	決算額	決算額	予算額
5005064	沖館川遊水地照明灯整備事業	新規	総務課	-	-	-	5,098
5011051	生涯スポーツ・レクリエーション支援事業	継続	文化スポーツ振興課	5,312	5,199	474	3,608
5011056	スポーツ振興施設運営管理事業(スポーツ振興事業)	継続	文化スポーツ振興課	3,289	3,066	-	-
5011063	スポーツ推進審議会開催事務	継続	文化スポーツ振興課	-	226	35	156
5011067	スポーツ事業後援事業	継続	文化スポーツ振興課	31	-	-	-
5011077	体力テスト結果情報収集・回答事務	継続	文化スポーツ振興課	-	-	-	-
5011081	森の広場改修事業	終了	文化スポーツ振興課	-	-	450	-
5011086	スポーツ選手活用体力向上事業	終了	文化スポーツ振興課	-	-	-	-
5011092	スポーツ施設機能整備事業(地域の元気臨時交付金)	新規	文化スポーツ振興課	-	-	-	92,499
5011091	青森市文化スポーツ振興公社スポーツ振興事業(補助金)(スポーツ事業)	継続	文化スポーツ振興課	-	-	35,884	32,820
5011058	スポーツ推進委員設置事業	継続	文化スポーツ振興課	2,296	2,296	2,296	1,948
5011052	森の広場運営管理事業	継続	文化スポーツ振興課	2,038	2,949	3,082	2,351
5011057	スポーツ振興施設運営管理事業(スポーツ施設管理)	継続	文化スポーツ振興課	315,933	374,421	283,499	296,985
5012004	勤労者プール運営管理事業	継続	中央市民センター	2,622	3,782	2,253	2,290
5090019	中世の里マスターズ駅伝大会支援事業(補助金)	継続	教育課	457	370	300	300
5090020	浪岡地区スポーツフェスティバル支援事業(補助金)	継続	教育課	72	58	47	47
5090021	浪岡地区体育大会支援事業(補助金)	継続	教育課	960	777	629	629
5090018	浪岡体育館運営管理事業(指定管理事務)	継続	教育課	15,423	18,589	15,756	16,220

1 施策名

基本方向2	学校体育活動の充実
	<ul style="list-style-type: none"> —【主な取組1】 指導体制の充実 —【主な取組2】 安全・安心の確保

2 現状と課題（計画の抜粋）

市では、教育活動の充実を図る取り組みの一環として、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもを育成するため、自ら進んで運動に親しみ、体力の向上やより良い生活を営むための健康・安全指導を充実させるため、学校体育活動において、各種研修会をはじめとした教員の指導力や資質の向上を図る取り組みを進めています。

また、平成24年度から中学校において必修化された武道や、小・中学校の部活動等において、安全かつ円滑に活動できるよう、関係団体等と連携した実技指導における外部指導者の活用にも取り組んでいます。

3 施策の概要（計画の抜粋）

教員の資質向上や関係団体等との連携により、学校体育活動における指導体制の充実に取り組むとともに、安全・安心に学校体育活動に取り組める環境づくりを進めます。

4 基本施策の目標とする指標と取組状況

指標名	基準値 (H23)	目標値 (H27)	実績値				現時点での達成率
			H24	H25	H26	H27	
体力テストの体力合計点（小学5年生）	男 55.2 点 女 56.0 点	男 55.45 点 女 56.25 点	男53.89 点 女55.87 点	男 53.79 点 女 55.13 点	*** 点 *** 点	*** 点 *** 点	97.0 % 98.0 %
	【指標の説明】8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点						
体力テストの体力合計点（中学2年生）	男 42.2 点 女 44.9 点	男 42.45 点 女 46.90 点	男41.46 点 女49.15 点	男 42.32 点 女 46.65 点	*** 点 *** 点	*** 点 *** 点	99.7 % 99.5 %
	【指標の説明】8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点						

5 平成25年度の取組状況

【指導体制の充実】
 小学校の教員を対象にした小学校体育科研修講座や、中学校の保健体育科教員を対象にした中学校保健体育科研修講座を開催し、児童生徒の発達の段階や小学校と中学校の学習内容の系統性を踏まえた授業づくりのポイントについて指導しました。
 小学校体育科研修講座及び中学校保健体育科研修講座で紹介した授業の「授業づくりのポイント」等をまとめた実践指導事例集を作成し、各学校に配付することで、全ての小・中学校教員に広く紹介するとともに、教員の指導力や資質の向上を図るための校内研修での活用を働きかけました。
 中学校の保健体育科教員及び柔道部、剣道部の顧問を対象にした中学校保健体育科実技研修講座を開催し、安全面に配慮した柔道及び剣道の授業の進め方について指導しました。
 小・中学校を訪問し、体を動かす楽しさや心地よさを体験させ、運動意欲を高める授業づくりのポイントについて指導・助言するとともに、始業前や休み時間などを利用して行う児童生徒の体力向上につながる取組を紹介しました。
 中学校の武道の授業の実施に当たり、学校からの要請に応じて、関係団体に対して外部指導者の派遣を依頼できる体制を整えました。

【安全・安心の確保】
 小・中学校教員を対象にした研修講座や学校訪問では、文部科学省が作成した「学校における体育活動中の事故防止のための資料」を活用し、体育活動中の事故を防止するための留意点について指導・助言しました。
 小・中学校の教員や各種競技団体を対象にしたスポーツ医科学セミナーを開催し、医師や大学教員の講義を通じて、スポーツ事故やスポーツ傷害防止等に関する知識の普及啓発に取り組みました。

6 教育委員会の点検及び評価の結果

成果
<p>【指導体制の充実】 小・中学校において学校体育や保健体育の研修講座を開催するなど、指導体制の充実を図ったことなどから、中学校2年生の体力合計点が男女とも基準値よりも高くなりました。</p> <p>【安全・安心の確保】 各学校において、体育活動中の事故防止のための校内研修を実施するとともに、万が一、事故が発生した際の対応についてまとめた「危険等発生時対処要領」を作成したほか、学校訪問時に「危険等発生時対処要領」を確認し、より実効性のあるものにするための指導・助言をし、安全・安心の確保が図られました。</p>
課題
<p>【指導体制の充実】 小学校5年生の体力合計点が男女とも低くなっていることから、結果を分析し、対策に取り組む必要があります。学校での体育活動を自由時間にもしたくなるような運動意欲を高める工夫が求められています。</p>
今後の方向性
<p>【指導体制の充実】 研修講座や学校訪問の実施及び実践指導事例集の作成を通じて、体を動かす楽しさや心地よさを味わわせ、運動意欲を高める授業づくりのポイントについて指導・助言することで、教員の指導力向上に努めるとともに、児童生徒の体力向上につながる様々な取組を紹介していきます。</p> <p>小中連携で行われている、中学校保健体育科教員による小学校での出前授業の取組など、全小・中学校を対象に特色ある事例の周知に努めます。</p> <p>教員の指導力向上に努めるとともに、ボールや縄、棒などの用具を用いて行う運動や鬼ごっこなど、児童生徒が楽しみながら体を動かせる運動や身体活動を伴う遊びを数多く紹介するとともに、保護者と地域及び学校が連携した取組事例を紹介していきます。</p> <p>各学校に対して、体育活動中の事故防止のための校内研修の開催を働きかけるとともに、児童生徒の実態や教員数等を踏まえて、各学校が作成している「危険等発生時対処要領」の見直し・改善を図るよう働きかけます。</p> <p>【安全・安心の確保】 安全・安心の確保を図るため、引き続き小・中学校の教員や各種競技団体を対象にしたスポーツ医科学セミナーを開催し、医師や大学教員の講義を通じて、スポーツ事故やスポーツ傷害防止等に関する知識の普及啓発に取り組みます。</p>

(参考) 施策を構成する事務事業

(単位：千円)

事業番号	事務事業名	事業区分	担当課	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
				決算額	決算額	決算額	予算額
5011088	スポーツ医科学講座開催事業	継続	文化スポーツ振興課	-	-	28	55
5080007	実践指導事例集作成事業	継続	指導課	-	-	-	-
5080008	学校教育指導方針推進事業	継続	指導課	-	-	-	-
5080009	学校訪問教育指導事業	継続	指導課	197	196	194	238
5080047	教職員研修事業	継続	指導課	3,804	3,644	3,357	4,048

1 施策名

基本方向3	ウィンタースポーツの推進
【主な取組1】 「カーリングの街・青森」の推進 【主な取組2】 その他ウィンタースポーツの促進	

2 現状と課題（計画の抜粋）

近年では他の自治体で通年利用が可能なカーリング場が整備された一方、本市では未だ10月から4月までの利用環境となっており、また、全国的な競技水準も向上するなど、本市のカーリング環境は相対的に厳しさを増しており、「カーリングの街・青森」の実現に向けた取り組みを強化していく必要があります。
 また、ここ数年、市のウィンタースポーツ施設の利用者数やウィンタースポーツイベントの参加者数が減少しており、だれでも気軽にウィンタースポーツに親しめる環境づくりに取り組んでいく必要があります。

3 施策の概要（計画の抜粋）

多様な施設環境や多雪寒冷である本市の気候特性を活かし、全国的にも注目を集めているカーリングをはじめ、スキー、スノーボード、スケートなど、ウィンタースポーツ全般に気軽に楽しめる機会の充実及び競技水準の向上に取り組めます。

4 基本施策の目標とする指標と取組状況

指標名	基準値 (H23)	目標値 (H27)	実績値				現時点での達成率
			H24	H25	H26	H27	
ウィンタースポーツ施設利用者数	106,449 人	116,467 人	103,503 人	107,313 人	*** 人	*** 人	92.1 %
【指標の説明】本市所有のウィンタースポーツ施設の年間利用者数							
ウィンタースポーツに対する満足度	20.8 %	26.8 %	22.0 %	22.2 %	*** %	*** %	82.8 %
【指標の説明】ウィンタースポーツに親しむことができる機会や環境に対する満足度（市民意識調査）							
ウィンタースポーツイベント参加者数	777 人	937 人	739 人	735 人	*** 人	*** 人	78.4 %
【指標の説明】本市所有のウィンタースポーツ施設の年間利用者数							

5 平成25年度の取組状況

【「カーリングの街・青森」の推進】
 全国高等学校カーリング選手権大会をはじめ、小・中学生を対象とした「カーリングチャレンジカップ」を開催し、若手選手の競技力向上及びカーリング人口の裾野拡大を図り、「カーリングの街・青森」の推進に努めました。

【その他ウィンタースポーツの促進】
 冬期間における運動不足を解消し、活発にスポーツ活動に取り組んでいただけるよう、既存のウィンタースポーツ施設の適正な保守管理及び小学校の校庭を活用したスキースロープの設置助成を実施し、ウィンタースポーツに取り組みやすい環境づくりに取り組みました。

カーリング施設の利用期間拡大に要する財源を確保するため、ネーミングライツスポンサーを募集しました。
 「歩くスキーの集い」をはじめとした各種教室やイベントの開催に加え、平成25年度からは、小学生を対象とした「氷上スポーツ・レクリエーション祭」を開催し、氷上という特殊な環境を利用したリレー、綱引き、ゲームなどに親しむ機会を提供したほか、これらの各種教室やイベントについて、広報あおもりや各学校への通知など積極的な情報提供に努め、ウィンタースポーツの促進を図りました。

6 教育委員会の点検及び評価の結果

成果
<p>【「カーリングの街・青森」の推進】【その他ウィンタースポーツの促進】</p> <p>日本ジュニアカーリング選手権大会、全国高等学校カーリング選手権大会などが開催され、若手選手の競技水準の向上及びカーリング人口の裾野拡大を図ったほか、小学校へのスキースロープ設置助成を通じ、子どもたちがスキーに取り組める環境が整備され、スキー人口の裾野拡大を図った結果、ウィンタースポーツ施設利用者数は、前年度を上回りました。</p>
課題
<p>【「カーリングの街・青森」の推進】</p> <p>全国高等学校カーリング選手権大会については、全国各ブロックから参加チームを確保することが厳しくなりつつある状況となっているほか、一般財団法人地域活性化センターの助成金が第10回で終了する予定となっています。</p> <p>今後、継続的に「カーリングの街・青森」の積極的なPRに努める必要があります。</p> <p>【その他ウィンタースポーツの促進】</p> <p>ウィンタースポーツイベント参加者数が前年度を下回りました。</p>
今後の方向性
<p>【「カーリングの街・青森」の推進】</p> <p>「青森市スポーツ推進計画」に基づき、「小・中カーリング・チャレンジカップ」を継続して開催するとともに、青森県カーリング協会と連携しながら、全国大会等の誘致に努めるとともに、「カーリングの街・青森」のPRに取り組んでいきます。</p> <p>また、全国高等学校カーリング選手権大会の継続開催に向け、今後の方針について、関係機関と協議・検討していきます。</p> <p>【その他ウィンタースポーツの促進】</p> <p>スキースロープ設置助成を継続するとともに、ウィンタースポーツイベント参加者数の向上を図るため、氷上スポーツレクリエーションや歩くスキーの集いなど、ウィンタースポーツ事業の更なるPRに努めていきます。</p>

(参考) 施策を構成する事務事業

(単位：千円)

事業番号	事務事業名	事業区分	担当課	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
				決算額	決算額	決算額	予算額
5011066	全国高等学校カーリング選手権大会開催事業	継続	文化スポーツ振興課	4,311	3,940	3,914	4,474
5011068	スキースロープ設置助成事業	継続	文化スポーツ振興課	520	520	500	540
5011073	青森市中学校体育大会冬季大会開催事業(負担額)	継続	文化スポーツ振興課	-	-	-	-
5011091	青森市文化スポーツ振興公社スポーツ振興事業(補助金)(スポーツ事業)	継続	文化スポーツ振興課	-	-	35,884	32,820

1 施策名

基本方向4	競技水準の向上
—	【主な取組1】 ジュニア層の育成強化
—	【主な取組2】 各種競技会への参加支援
—	【主な取組3】 競技団体との連携促進
—	【主な取組4】 優秀な成績を収めた選手及び指導者に対する顕彰

2 現状と課題（計画の抜粋）

ジュニア層の育成強化が、競技力の向上に重要な役割を果たすことから、これまでの小・中学生を対象としたスポーツ大会の開催支援などに加え、競技団体とも連携しながら優秀な選手及び指導者を発掘・育成するための対策に取り組む必要があります。

高い競技レベルを実感することは、競技意欲の向上に大いに資することから、本市を代表して全国大会などに出場する選手に対する参加促進に継続して取り組む必要があります。

3 施策の概要（計画の抜粋）

市民の皆さんのスポーツへの関心・意欲を高めるとともに、意欲ある優秀な選手や指導者の発掘・育成に努めるなど、競技団体とも連携しながら競技水準の向上に取り組めます。

4 基本施策の目標とする指標と取組状況

指標名	基準値 (H23)	目標値 (H27)	実績値				現時点での達成率
			H24	H25	H26	H27	
スポーツ賞及びスポーツ奨励賞 受賞者数	- 人	195 人	141 人	151 人	*** 人	*** 人	77.4 %
【指標の説明】本市の表彰制度である「スポーツ賞」及び「スポーツ奨励賞」の受賞者数							
国民体育大会に出場した市民の 人数	103 人	120 人	83 人	102 人	*** 人	*** 人	85.0 %
【指標の説明】国民体育大会に出場した市民の人数							
中学生の東北・全国大会派遣者 数	240 人	254 人	227 人	322 人	*** 人	*** 人	126.8 %
【指標の説明】青森県中学生体育大会を通じて東北・全国大会に出場した中学生の人数							

5 平成25年度の取組状況

【ジュニア層の育成強化】【競技団体との連携促進】
これまでの小・中学生を対象としたスポーツ大会の開催支援などに加え、トップレベルの選手又は指導者による講習会や実技指導などを開催しながら、地域のスポーツ指導者を発掘・育成し、ジュニア層の育成強化を図るため、指導員の資格に要する一部経費を支援する制度を創設しました。

【各種競技会への参加支援】
高等学校全国大会や青森県民体育大会、国民体育大会など本市を代表して各種競技会へ出場する選手等に対する支援に取り組めました。

【優秀な成績を収めた選手及び指導者に対する顕彰】
東北大会以上のレベルの大会で優秀な成績を収めた選手・団体を対象とした「スポーツ賞・スポーツ奨励賞」の顕彰に加え、平成25年度より、全国大会以上の大会で優秀な成績を収めた選手の指導者を対象とした「スポーツ指導者賞」の顕彰制度を実施し、競技意欲や指導意欲の更なる向上を図りました。なお、表彰者については、広報あおもり及び市ホームページへ掲載し、広く周知に努めました。

6 教育委員会の点検及び評価の結果

成果
<p>【ジュニア層の育成強化】【各種競技会への参加支援】 東北・全国のレベルの高い大会へ出場する中学校及び高等学校の生徒に対する支援に取り組んだ結果、中学生の東北・全国大会派遣者数が前年度及び目標値を大幅に上回りました。 本市を代表して各種競技会へ出場する選手等に対する支援に取り組んだ結果、国民体育大会に出場した市民の人数は前年度を上回りました。</p>
課題
<p>【ジュニア層の育成強化】 ジュニア層の育成強化を図るためには、適切な指導体制が必要となります。 【優秀な成績を収めた選手及び指導者に対する顕彰】 スポーツ指導者育成支援事業が市民には十分浸透していない状況にあります。</p>
今後の方向性
<p>【ジュニア層の育成強化】 ジュニア層の育成強化を図るため、引き続きトップレベルの選手又は指導者による講習会や実技指導などの開催や、競技団体との連携のもと、各種大会等において優秀な選手を発掘し、適切な指導により育成できる体制づくりを検討します。 【各種競技会への参加支援】【競技団体との連携促進】 各種競技会への参加支援及び競技団体との連携を促進するため、引き続き一般財団法人青森市体育協会への助成や、小学校体育デー及び中学校体育大会の開催費助成、中学生・高校生への東北・全国大会派遣費補助などを継続していきます。 【優秀な成績を収めた選手及び指導者に対する顕彰】 競技意欲を高めるためのスポーツ賞・スポーツ奨励賞、指導意欲を高めるためのスポーツ指導者賞を継続的に実施していくほか、平成25年度から制度化した事業であるスポーツ指導者育成支援事業を継続的に実施するとともに、広報あおもりやホームページにおいて、広くPRを行うことにより、指導者の確保・資質向上に努めていきます。</p>

(参考) 施策を構成する事務事業

(単位：千円)

事業番号	事務事業名	事業区分	担当課	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
				決算額	決算額	決算額	予算額
5011054	青森市体育・スポーツ競技団体育成強化事業(補助金)	継続	文化スポーツ振興課	3,904	6,440	4,217	7,311
5011058	スポーツ推進委員設置事業	継続	文化スポーツ振興課	2,296	2,296	2,296	1,948
5011065	県民体育大会参加事業(負担金)	継続	文化スポーツ振興課	1,987	100	100	100
5011069	スポーツ賞表彰事業	継続	文化スポーツ振興課	437	496	504	676
5011070	青森県スポーツ推進委員協議会事業(負担金)	継続	文化スポーツ振興課	15	14	14	15
5011071	小学校体育デー開催事業(負担金)	継続	文化スポーツ振興課	100	100	100	100
5011072	青森市中学校体育大会夏季大会開催事業(負担金)	継続	文化スポーツ振興課	250	250	250	250
5011074	中学校体育大会選手派遣事業(補助金)	継続	文化スポーツ振興課	7,830	3,619	3,127	3,127
5011075	中学校体育大会開催事業(補助金)	拡充	文化スポーツ振興課	-	1,100	-	50
5011076	高等学校全国大会選手派遣事業(補助金)	継続	文化スポーツ振興課	-	2,000	1,200	2,000
5011087	スポーツ指導者育成支援事業	継続	文化スポーツ振興課	-	-	-	432

1 施策名

基本方針1	家庭や地域等における子どもの読書活動の推進
—	【主な取組1】 家庭での読書活動の推進
—	【主な取組2】 地域での読書活動の推進
—	【主な取組3】 学校等での読書活動の推進
—	【主な取組4】 市民図書館での読書活動の推進

2 現状と課題（計画の抜粋）

子どもの読書へ向けた取組は、読書活動への第一歩となる乳幼児期からはじまり、少年期、青年期と子どもの成長にあわせ、継続していく必要があります。
 そのために、家庭においては読書習慣を形成する場として、地域においては読書の楽しさを実感する場として、学校においては読書する力をはぐくむ場として、そして市民図書館においてはその楽しさを広げる場として、積極的に読書活動を推進していくことが大切です。

3 施策の概要（計画の抜粋）

家庭や地域が子どもの読書の大切さを認識し、子どもたちが乳幼児の時期から絵本に親しみ、さらに読書習慣を形成し、自主的な読書活動へつなげることが出来るよう、家庭、地域、学校等へ積極的に働きかけるとともに、地域の読書活動推進の拠点となる学校と市民センター等を中心に読書活動の推進に努めていきます。

4 基本施策の目標とする指標と取組状況

指標名	基準値 (H22)		目標値 (H27)		実績値			現時点での達成率			
					H25	H26	H27				
おはなし会を実施するセンター等の数	9	館	12	館	12	館	*** 館	*** 館	100.0 %		
市民図書館、市民センター等における子ども一人当たりの貸出冊数(0~18歳)	4.71	冊	5.06	冊	4.80	冊	*** 冊	*** 冊	94.9 %		
学校図書館の一人当たりの貸出冊数	小学校	17.7 冊	小学校	23.9 冊	小学校	22.1 冊	小学校	*** 冊	小学校	*** 冊	92.5 %
	中学校	2.3 冊	中学校	2.8 冊	中学校	2.6 冊	中学校	*** 冊	中学校	*** 冊	92.9 %
市民図書館からの特別貸出件数	学校授業支援用	30 件	学校授業支援用	45 件	学校授業支援用	54 件	学校授業支援用	*** 件	学校授業支援用	*** 件	120.0 %
	学校・団体おはなし会用	92 件	学校・団体おはなし会用	119 件	学校・団体おはなし会用	123 件	学校・団体おはなし会用	*** 件	学校・団体おはなし会用	*** 件	103.4 %
学校図書館読書感想文コンクール小・中学校参加校の割合	100.0	%	100.0	%	100.0	%	*** %	*** %	100.0 %		

5 平成25年度の取組状況

【家庭での読書活動の推進】
 4か月児健診時に、親子へブックスタートパックを交付し、絵本の読み聞かせを行う、「心はぐくむブックスタート事業」に展示用の赤ちゃん絵本を貸出することで、乳幼児の時期から絵本に触れ、親しむ機会や家庭での読書活動への動機づけとなるよう働きかけました。また、直接会場に向き、乳幼児対象の市民図書館利用者カードの発行と図書館・市民センター等の利用を積極的に働きかけました。

【地域での読書活動の推進】
 地域における「おはなし会」等の読書啓発活動を促すため、各市民センターで親子を対象としたおはなし会を独自に企画・実施しました。市民図書館でも、毎月1回定期的に司書職員を全市民センター等12か所に派遣し、乳幼児とその保護者を対象としたおはなし会を実施して、市民センター図書室の利用促進を図りました。
 また、市内読書団体と共催して市内各地で「風のはこんだおはなし会地域編」を実施したほか、移動図書館のステーションで紙芝居を実施するなど、地理的条件により市民図書館や市民センター等のおはなし会に参加しにくい子どもたちにも本に触れる機会を提供し、読書啓発に努めました。

【学校等での読書活動の推進】
 学校での読書推進に当っては、学校訪問時における全体会で「読書活動の推進」について周知し、学校図書館1人当たりの貸出冊数の向上に取り組みました。また、市内全ての小・中学校で「全校一斉読書」や「子ども読書の日」の取組を行い、それらの取組状況を把握するためのアンケートを実施し、その結果を公表しました。
 学校図書館読書感想文コンクールを実施し、全小中学校から応募があったほか、読書新聞表彰や読書活動学校賞表彰を実施しました。
 市民図書館の司書が希望校（小学校）を訪問し、おはなし会などの読書啓発や調べ学習の支援を行う「授業支援」も行い、読書啓発は11校、調べ学習は10校が利用しました。

【市民図書館での読書活動の推進】
 乳幼児とその保護者を対象とした「おひざにだっこのおはなし会」と低学年を対象とした「たのしいかみしばいのじかん」を毎週実施し、子どもの発達段階にあわせた読書啓発を図りました。
 特別貸出については、返却受付窓口の一部拡大などサービスの拡充を図るとともに、利用案内を保育所（園）・幼稚園等へ配付・説明したほか、「おはなし会貸出資料実演会」を実施してエプロンシアターなどの実演、使い方指導を行うことで、図書館サービスの利用について直接働きかけました。

6 教育委員会の点検及び評価の結果

成果
<p>【家庭での読書活動の推進】【地域での読書活動の推進】 保護者に子どもの読書の大切さを認識してもらうための読書啓発活動を推進したことや、全市民センター等に司書を定期的に派遣した結果、市民図書館及び市民センター等でのおはなし会参加者が前年度より増加し、子どもたちが乳幼児期から本に触れる機会が向上しました。</p> <p>【学校等での読書活動の推進】 学校での読書推進活動の取組を通じ、学校図書館の一人当たりの貸出冊数の年度目標値（小学校：21.4冊、中学校：2.6冊）を達成しました。</p> <p>【市民図書館での読書活動の推進】 「おはなし会」等の読書啓発活動を推進するために、特別貸出等図書館サービスの利用について、保育所(園)・幼稚園等に直接働きかけたことで、特別貸出件数が増加し、目標値（H27）を上回りました。</p>
課題
<p>【市民図書館での読書活動の推進】 市民図書館、市民センター等における子ども一人当たりの貸出冊数については、年度目標値（4.92冊）を達成していません。</p>
今後の方向性
<p>【家庭での読書活動の推進】【地域での読書活動の推進】 家庭での読書活動の推進を図るため、引き続き保護者に対し、子どもの読書の大切さを認識してもらうための読書啓発活動に取り組むほか、全市民センター等に司書を定期的に派遣し、おはなし会等を実施するなどして、子どもたちが乳幼児期から本に触れる機会の提供に取り組みます。</p> <p>【学校等での読書活動の推進】 学校等での読書活動を推進するため、引き続き「読書活動の推進」に関する周知や啓発を図るとともに、司書による授業支援等を行い、学校図書館一人当たりの貸出冊数の向上に取り組みます。</p> <p>【市民図書館での読書活動の推進】 地理的に図書館・市民センター等を利用しにくい地域の児童関連施設等に対し、団体貸出サービスの周知を図り、新たな地域文庫等の設置を促進することで、より多くの子どもたちに本に触れる機会を提供するとともに、中・高校生や保護者への啓発活動を行いながら、図書館・市民センター等の利用の促進を図ります。</p>

(参考) 施策を構成する事務事業

(単位：千円)

事業番号	事務事業名	事業区分	担当課	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
				決算額	決算額	決算額	予算額
5010088	青森市放課後子ども教室推進事業	継続	社会教育課	25,534	19,247	16,144	17,705
5010104	家庭教育支援事業	継続	社会教育課	2,144	2,029	1,833	1,836
5012009	生涯学習支援事業（中央市民センター）	継続	中央市民センター	3,608	2,369	3,093	4,841
5012016	生涯学習支援事業（地区市民センター）	継続	中央市民センター	5,886	5,818	5,277	4,604
5055003	図書資料整備事業	継続	市民図書館	6,436	36,892	36,596	37,693
5055008	読書活動推進事業	継続	市民図書館	116	706	37	42
5055011	図書館運営管理事業	継続	市民図書館	78,170	76,106	102,877	106,359
5055012	館外貸出運営事業	継続	市民図書館	401	975	1,094	1,603
5080008	学校教育指導方針推進事業	継続	指導課	-	-	-	-
5080028	心豊かな子ども読書活動推進事業	継続	指導課	135	221	218	222
5090014	公民館運営事業（生涯学習支援事業）	継続	教育課	1,738	1,698	1,586	1,577
2510002	(参考) 放課後児童対策事業	継続	子どもしあわせ課	43,774	49,870	48,015	49,387
2510042	(参考) つどいの広場活動事業	継続	子どもしあわせ課	26	22	11	20
2510059	(参考) 子ども支援センター活動事業	継続	子どもしあわせ課	405	381	421	1,475
2550017	(参考) 4か月児健康診査事業	継続	健康づくり推進課	4,805	4,747	4,767	4,473
2550023	(参考) マタニティセミナー事業	継続	健康づくり推進課	128	103	115	123
2550024	(参考) 心はぐくむブックスタート事業	継続	健康づくり推進課	2,065	2,156	2,062	2,006
2550034	(参考) 1歳6か月児健康診査事業	継続	健康づくり推進課	4,906	4,921	4,942	5,037
2550035	(参考) 3歳児健康診査事業	継続	健康づくり推進課	8,007	8,941	8,367	8,690

1 施策名

基本方針2	子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備・充実
-------	----------------------------

- 【主な取組1】 家庭での読書環境の整備・充実
- 【主な取組2】 地域での読書環境の整備・充実
- 【主な取組3】 学校等での読書環境の整備・充実
- 【主な取組4】 市民図書館での読書環境の整備・充実

2 現状と課題（計画の抜粋）

子どもが身近なところで気軽に本に接することの出来る読書環境を整備していくことは、子どもの読書活動を推進していく上で大切です。
 子どもの身近な読書活動の場として、家庭のほかに保育所(園)・幼稚園、学校、地域の市民センター等、児童館などがあります。
 中でも学校や市民センター等には、読書活動を展開していく地域における拠点としての役割が期待されます。

3 施策の概要（計画の抜粋）

このような観点から、特に学校や市民センター等における蔵書の充実、コンピュータの活用、司書の支援、ボランティアの活用などにより、地域の読書環境の整備、充実に努めます。

4 基本施策の目標とする指標と取組状況

指標名	基準値 (H22)	目標値 (H27)	実績値			現時点での達成率
			H25	H26	H27	
学校図書館蔵書冊数	小学校 299,000 冊	小学校 308,000 冊	小学校 317,878 冊	小学校 *** 冊	小学校 *** 冊	103.2 %
	中学校 208,000 冊	中学校 253,000 冊	中学校 236,058 冊	中学校 *** 冊	中学校 *** 冊	93.3 %
市民図書館、市民センター等における児童書の蔵書冊数	173,000 冊	198,000 冊	206,407 冊	*** 冊	*** 冊	104.2 %

5 平成25年度の取組状況

【家庭での読書環境の整備・充実】
 家庭での読書支援をするため、年齢等に応じたブックリストや市民図書館児童ライブラリー広報紙「としょかんだより おはなしはまほう」を発行しました。
 市内全ての市民センター等に、毎月、市民図書館の司書を派遣し、乳幼児とその保護者を対象としたおはなし会を実施しました。

【地域での読書環境の整備・充実】
 地域文庫や、子ども支援センター・つどいの広場「さんぼぼ」・市内36か所の放課後児童会の配本コーナー、保育所や学校、児童館等の貸出文庫に図書を提供したほか、移動図書館において学校ステーション7箇所を巡回するなど、地域の子どもの読書環境の整備・充実に努めました。

市民センターを訪問した司書が最寄の学校にも読書支援活動を行ったりするなど、司書を活用した市民センター等と学校との連携・協力体制の推進に努めました。

【学校等での読書環境の整備・充実】
 学校での読書環境の整備・充実に当たっては、廃校図書の有効活用を図りながら、学校図書館の蔵書の充実に努めるとともに、学校図書館運営において地域ボランティアの活用を推進した結果、平成25年度は小学校43校、中学校7校で実施されました。

また、学校図書館電算化システムの導入を進め、平成25年度中に全ての小学校と中学校14校の蔵書データの登録が完了しました。

【市民図書館での読書環境の整備・充実】
 利用頻度や蔵書構成に留意しながら、利用の多い資料や利用時期の重なる資料を複数揃えることで、図書館資料の充実を図り、子どもが必要な時に必要な本を手に入れられる環境の整備・充実に努めました。
 子どもの読書活動を推進していくため、おはなしや読み聞かせをするボランティアを養成する講習会を年2回（図書館1、地域1）開催しています。

障がいのある子どもたちに資料を提供するため、点字・録音図書、デジター図書等の収集、図書館ボランティアによる「さわる絵本」の作製、県立盲学校の貸出文庫への図書資料貸出を継続しました。

6 教育委員会の点検及び評価の結果

成果
<p>【学校等での読書環境の整備・充実】 学校図書館電算化システムによる小・中学校図書室と市民図書館の連携が図られる環境づくりを進めた結果、相互の蔵書検索・図書の貸借・読書活動情報の共有化が可能となったほか、学校図書館運営におけるボランティアの活用により、児童・生徒の読書環境の向上が図られました。 小・中学校における学校図書館蔵書冊数は、小学校においては目標値（H27）を超えており、中学校においては年度目標値（235,000冊）を上回りました。</p> <p>【市民図書館での読書環境の整備・充実】 市民図書館、市民センター等における児童書の蔵書冊数は目標値（H27）を上回り、充実が図られています。</p>
課題
<p>【地域での読書環境の整備・充実】 司書を活用した市民センター等と学校との連携については、新城中央小学校と浪岡南小学校の2か所で実施しましたが、他の地域においても実施されるよう促進していく必要があります。</p>
今後の方向性
<p>【家庭での読書環境の整備・充実】【地域での読書環境の整備・充実】 地域での読書環境の整備、充実を図るため、保育士・幼稚園教諭への働きかけや、ボランティア養成講座を年次計画により全市民センター等で開催し、地域におけるボランティア活動を促進するとともに、スペースが限られている市民センター図書室等において、図書の配置を工夫したり、子どもの利用が多い本を揃えるなどして、子どもが必要なときに必要な本を手にすることができる環境づくりに努めます。 司書を活用した市民センター等と学校との連携については、対象校を増やしていきます。</p> <p>【学校等での読書環境の整備・充実】 学校等での読書環境の整備・充実を図るため、学校図書館電算化システムの利用促進を図り、図書館と学校、学校間の連携により、学校における読書環境の充実に努めます。</p> <p>【市民図書館での読書環境の整備・充実】 市民図書館での読書環境の整備・充実を図るため、引き続き利用頻度や蔵書構成に留意した図書資料の整備に努めます。 子どもの読書活動を支援するボランティアの養成に努めながら、市民図書館ボランティアを募り、図書館の読書推進活動への活用を図ります。</p>

(参考) 施策を構成する事務事業

(単位：千円)

事業番号	事務事業名	事業区分	担当課	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
				決算額	決算額	決算額	予算額
5005002	小学校運営管理事務	継続	総務課	586,907	603,791	608,628	613,319
5005003	小学校教材整備事務	継続	総務課	180,827	99,973	116,515	97,653
5005004	中学校運営管理事務	継続	総務課	268,236	300,132	303,192	312,802
5005005	中学校教材整備事務	継続	総務課	78,611	95,157	76,493	65,493
5010104	家庭教育支援事業	継続	社会教育課	2,144	2,029	1,833	1,836
5010089	学校支援地域本部事業	拡充	社会教育課	3,179	2,611	3,173	4,173
5012009	生涯学習支援事業（中央市民センター）	継続	中央市民センター	3,608	2,369	3,093	4,841
5012016	生涯学習支援事業（地区市民センター）	継続	中央市民センター	5,886	5,818	5,277	4,604
5055003	図書資料整備事業	継続	市民図書館	6,436	36,892	36,596	37,693
5055008	読書活動推進事業	継続	市民図書館	116	706	37	42
5055011	図書館運営管理事業	継続	市民図書館	78,170	76,106	102,877	106,359
5055012	館外貸出運営事業	継続	市民図書館	401	975	1,094	1,603
5080008	学校教育指導方針推進事業	継続	指導課	-	-	-	-
5080028	心豊かな子ども読書活動推進事業	継続	指導課	135	221	218	222
5090014	公民館運営事業（生涯学習支援事業）	継続	教育課	1,738	1,698	1,586	1,577
2510002	(参考) 放課後児童対策事業	継続	子どもしあわせ課	43,774	49,870	48,015	49,387
2510037	(参考) 児童館児童活動事業	継続	子どもしあわせ課	2,924	2,924	2,924	2,965
2510042	(参考) つどいの広場活動事業	継続	子どもしあわせ課	26	22	11	20
2510059	(参考) 子ども支援センター活動事業	継続	子どもしあわせ課	405	381	421	1,475
2550017	(参考) 4か月児健康診査事業	継続	健康づくり推進課	4,805	4,747	4,767	4,473
2550023	(参考) マタニティーセミナー事業	継続	健康づくり推進課	128	103	115	123
2550024	(参考) 心はぐくむブックスタート事業	継続	健康づくり推進課	2,065	2,156	2,062	2,006
2550034	(参考) 1歳6か月児健康診査事業	継続	健康づくり推進課	4,906	4,921	4,942	5,037
2550035	(参考) 3歳児健康診査事業	継続	健康づくり推進課	8,007	8,941	8,367	8,690

1 施策名

基本方針3	子どもの読書活動を推進するための連携・交流と広報活動の促進
—	【主な取組1】 連携・交流の促進
—	【主な取組2】 広報活動の促進

2 現状と課題（計画の抜粋）

子どもの読書活動を推進していくためには、関係機関・団体等が効果的に事業や活動を行うことが出来るよう、相互に情報を共有していくことが大切です。
 さらに、子どもの読書活動への理解と関心を高め、社会全体で推進していくためには、関係者のみならず、広く市民に向けた広報活動などによる普及・啓発も大切です。

3 施策の概要（計画の抜粋）

このような観点から、子どもの読書活動に関わる機関・施設やボランティアなどの相互の連携・交流に努め、緊密な協力体制を整えて、効果的な読書活動を推進していきます。
 また、読書活動の意義の広範な理解に向けて広報活動に努めます。

4 基本施策の目標とする指標と取組状況

指標名	基準値 (H22)	目標値 (H27)	実績値			現時点での達成率
			H25	H26	H27	
読書関係ボランティアを導入した学校数	小学校 39 校	小学校 49 校	小学校 43 校	小学校 *** 校	小学校 *** 校	95.6 %
	中学校 5 校	中学校 9 校	中学校 7 校	中学校 *** 校	中学校 *** 校	77.8 %
おはなし会等へボランティアを導入したセンター等数	7 館	12 館	10 館	*** 館	*** 館	83.3 %

指標 「読書関係ボランティアを導入した学校数」の現時点での達成率は、目標値を平成25年度小学校数46校で算出しました。

5 平成25年度の取組状況

【連携・交流の促進】
 市読書団体連絡会や市民図書館ボランティア「ライブラリーフレンズ」、地域文庫、その他子どもの読書活動に関わる機関・団体の活動状況やイベント情報等の把握に努め、広報活動に協力しました。
 学校図書館担当者研修に出向き、図書館サービスや、市民図書館と学校、学校間の連携などについて周知を図るとともに、学校・図書館・地域を結ぶ「読書懇話会」を開催し、子どもの読書活動に関わる三者の連携・交流に努めました。
 指導主事による学校訪問において、PTAや地域ボランティアなどによる読書活動支援への取組について指導したほか、学校支援地域本部事業の実施校で、読み聞かせや学校図書館の整備等のボランティア活動が行われました。
 地域ボランティアや読書活動団体と学校・市民センター等の連携・協力をコーディネートしたほか、ライブラリーフレンズの活動を支援するなど、関係機関やボランティアの連携による読書活動の推進に努めました。また、地域のボランティアがおはなし会等を実施する際に参考になる図書や大型絵本を配本所に置くことで、地域の読書推進活動を促しました。

【広報活動の促進】
 市民図書館児童ライブラリー広報紙「おはなしはまほう」や青森市子ども読書推進だより「青い森のこども読書」など各種広報紙を発行し、子どもの読書活動に関わる機関・団体、学校等に送付し、閲覧・配付ができるよう依頼しました。また、ホームページ等の活用による広報活動を促進して、市民が容易に読書情報を収集できるようにしました。
 読書活動の意義の理解に向けて、全小中学校で「子ども読書の日」の取組を実施するとともに、市民図書館において「こどもの読書週間」にちなんだ展示を行いました。

6 教育委員会の点検及び評価の結果

成果
<p>【連携・交流の促進】 学校図書館運営における地域ボランティア活用の推進を図った結果、読書関係ボランティアを導入した中学校が昨年度（6校）を上回り、年度目標値（7校）を達成しています。 また、市民図書館からの働きかけ等により、おはなし会にボランティアを導入する市民センターも年度目標値（10館）を達成しています。</p>
課題
<p>【連携・交流の促進】 読書関係ボランティアを導入した学校数について、小学校が年度目標値（45校）に達していません。</p>
今後の方向性
<p>【連携・交流の促進】 読書関係ボランティアを導入した学校数の目標達成を目指し、学校支援地域本部事業とも連携して学校間での情報共有を図りながら、読書関係ボランティアを導入していない学校に、ボランティア導入の働きかけをするとともに、子どもの心を豊かにするための読書活動に積極的に取り組んでいきます。 情報の一元化やコーディネートに取り組み、子どもの読書活動に関する機関、団体、ボランティア、学校、保育所（園）・幼稚園等が相互に情報共有し、連携・交流を図ることができるよう環境づくりに努めます。</p> <p>【広報活動の促進】 広報活動の促進を図るため、引き続き関係機関等の相互の協力や、多様な媒体の活用、一層の工夫により、効果的な情報提供に努め、子どもが身近な場所で読書に親しむ機会を広く周知するとともに、「子ども読書の日」、「こどもの読書週間」の取組等を通じて、子どもの読書活動への理解と関心を高めていきます。</p>

(参考) 施策を構成する事務事業

(単位：千円)

事業番号	事務事業名	事業区分	担当課	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
				決算額	決算額	決算額	予算額
5010089	学校支援地域本部事業	拡充	社会教育課	3,179	2,611	3,173	4,173
5010104	生涯学習情報提供事業	継続	社会教育課	79	65	65	65
5012009	生涯学習支援事業（中央市民センター）	継続	中央市民センター	3,608	2,369	3,093	4,841
5012016	生涯学習支援事業（地区市民センター）	継続	中央市民センター	5,886	5,818	5,277	4,604
5055008	読書活動推進事業	継続	市民図書館	116	706	37	42
5055011	図書館運営管理事業	継続	市民図書館	78,170	76,106	102,877	106,359
5080008	学校教育指導方針推進事業	継続	指導課	-	-	-	-
5080028	心豊かな子ども読書活動推進事業	継続	指導課	135	221	218	222
2510002	(参考) 放課後児童対策事業	継続	子どもしあわせ課	43,774	49,870	48,015	49,387
2510059	(参考) 子ども支援センター活動事業	継続	子どもしあわせ課	405	381	421	1,475
2550024	(参考) 心はぐくむブックスタート事業	継続	健康づくり推進課	2,065	2,156	2,062	2,006

4 学識経験者の意見（総評）

内 海 隆 （公立大学法人青森公立大学経営経済学部教授）

昨年度末（平成 26 年 3 月）に「青森市教育振興基本計画」が策定されたことに伴い、青森市における教育政策の全体像と個別アクションプランが把握しやすくなった。と同時に、基本計画にある目標指数の達成年度を見据えながら点検・評価するのは、事業結果に対して「エビデンス（実証データ）」を提示できるものとできないものがあり、定量と定性評価の違いも考慮しながら評価せざるを得ないという困難さも感じている。

そのことを踏まえながら、今年度は特に印象に残った二つの点について取り上げたい。

まず、教育委員会学務課・指導課と学校現場のリレーションが太くなったという印象をもった。それは「学力向上アクションプラン」に基づき、それぞれの学校が特色ある教育を実践していることへの支援（指導・助言）また、特別支援教育も含めて「個に応じた教育」を研修内容の充実を図りながら展開していることが数字から読み取れたことである。

次に、社会教育・生涯学習、文化、スポーツ振興において、それぞれ諮問や推進計画を見直してさらなる向上を図っていることである。

最後に、ない物ねだりのような注文として、教育行政の分野での「見える化」から「見せる化」への積極的な対応行動を関係者には期待したい。

成 田 幾 末 （青森人権擁護委員）

教育委員会事務局が実施する学校教育や社会教育に関する各事業に対して精緻・正確な点検・評価がなされていると感じました。

自己評価を行う上で具体的な方向性を見出すためには、成果や課題を過小評価することなく分析することが大事であることから、遠慮や無用な心配のない積極的な自己評価がなされることを期待します。

概ね良好な事務点検評価ですが、敢えて今後予想されるマイナス要因を 2 つ上げてみました。

学校や社会の抱える教育課題解決のために数多くの研修講座を開催し、着実な成果を上げていることは評価できる。今後、さらなる教育の充実のためには、講座の内容を常に精査・検討・改善していくことが必須であるが、そのための十分な時間が講座担当者に確保されているのか懸念される。

目標指標に対して達成率を明らかにすることで、進捗状況を把握していることも評価できる。しかし、今後、達成率が高いのにその効果（満足度）が実感できないケースが出てくることも予想される。数値とは別の「現実的に評価する感覚」も忘れてはいけない。

今後、展開していく事業の中には行政機関との連携はもとより、地域や民間団体との包括的な連携が不可欠なものが出てきます。関係機関との連携や支援の仰ぎ方もこれまでにない工夫が必要となることから、柔軟な対応・対処が求められます。

5 まとめ

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条に基づき、「教育委員会の責任体制の明確化」を図るため、教育委員会事務局が実施する市の学校教育や社会教育等に関する事業の管理及び執行状況について、教育委員自らが、学識経験者の幅広い見地からの貴重なアドバイスをいただきながら、「点検及び評価」を実施したものである。

今年度の「点検及び評価」の方法としては、平成26年3月に教育施策の実現に向けた取組を総合的かつ効果的に推進するために策定した「青森市教育振興基本計画」、平成25年2月に策定した「青森市スポーツ推進計画」、平成23年5月に策定した「青森市子ども読書活動推進計画第2次計画」といった3つの計画に掲げた施策の指標等を参考として達成状況を評価し、現時点での課題と今後の方向性を整理したところである。

その結果、各施策の今後の方向性については、以下のとおりとすることとした。

「個を生かし、社会の変化に主体的に対応できる「生きる力」を育む学校教育」については、子どもの思考力・判断力・表現力の育成を図るため、小・中連携事業の発展・充実とともに、研修講座や学校訪問により指導していく。

また、いじめ、不登校、暴力行為等の予防・解消を図るため、いじめ防止集会の充実や、いじめ防止のカード、リーフレットの配付、不登校児童生徒に対しては、指導主事と教育相談室の相談員が学校に出向き協議するなど、引き続き相談体制の充実に努めるほか、ネット上の有害情報については、誹謗中傷等の書き込みを素早く発見し、削除するとともに、特に長期休業前に問題のある書き込みが増加していることから、家庭と連携を図り指導を徹底する。

さらに、障がいのある子どもの望ましい就学の実現を図るため、就学相談や就学検査等の体制を充実させるとともに、中学校におけるLD・ADHD通級指導教室の開設に向けた準備を進める。

このほか、社会全体での子どもたちの学びを支援するため、市内全ての地域において、学校支援活動が継続して行われるよう、学校の意向や地域の実情を踏まえながら、学校支援地域本部事業実施校の更なる拡充に取り組む。

「一人一人の社会参加と生涯にわたる学習を促進する社会教育・生涯学習」については、青少年に対する様々な体験活動の充実を図るため、子どもの国際的な相互交流等を実施するとともに、青少年の自立と社会参加に向けた支援の充実を図るため、主体的な活動を推進するリーダーの育成など青少年の教養と資質を高め、社会参加を促すような魅力ある学習プログラムの充実に取り組む。

また、市民の現代的・社会的な課題に対応した学習や郷土への愛着を深める学習の充実を図るため、各市民センターにおいては、引き続き生涯学習推進員や社会教育主事等を活用しながら、学習テーマを研究し、成人や青少年を含む幅広い年代が学習できる「現代的・社会的な課題をテーマにした講座」などを企画・開設していく。

「郷土への誇りと愛情を育み、まちの魅力と活力を高める文化・芸術」については、文化・芸術鑑賞機会の充実を図るとともに、アートで音楽のあるまちづくりの推進に向け、「アートでオン！」と連携し、個人・団体等に対し、事業実施に向けたアドバイスや情報提供を行うほか、市民参加型事業の検討や様々な広報媒体を積極的に活用し、文化・芸術活動の周知

に取り組む。

「誰もが四季を通じて親しめ、感動と元気を生み出すスポーツ・レクリエーション」については、スポーツ施設の利用者数の増加に向け、効率的・効果的な事業展開を図るための事業の見直しのほか、スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の拡大や、スポーツ・レクリエーション情報や施設の空き状況など分かりやすい情報提供に取り組むとともに、氷上スポーツ・レクリエーションなどといった、ウィンタースポーツ事業の更なるPRに努め、ウィンタースポーツイベントの参加者数の増加を図る。

また、ジュニア層の育成強化を図るため、引き続きトップレベルの選手又は指導者による講習会や実技指導などの開催や、競技団体との連携のもと、各種大会等において優秀な選手を発掘し、適切な指導により育成できる体制づくりを検討する。